（21）行政系施設：庁舎等

1）施設概要

本市の庁舎等は、21 施設あります。総延床面積は約 8 万㎡で、庁舎については市が保有する施設の 3.3%を占めています。

築年数の状況は、築 31 年以上の施設が 14 施設、築 21 年以上 築 30 年以下が 5 施設、築 20 年以下が 2 施設です。

①施設一覧（令和２年４月１日現在）

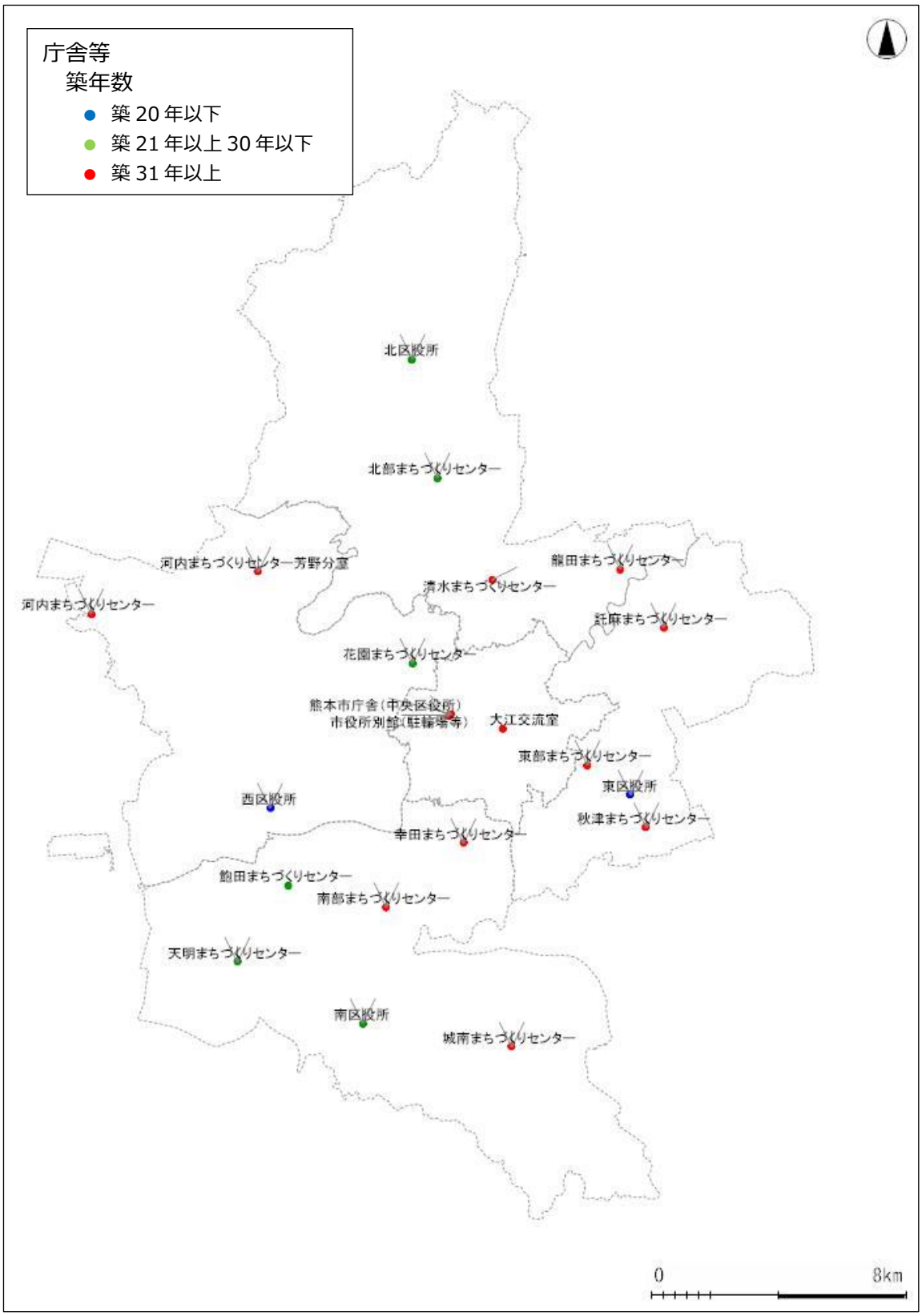
窓口機能一覧

No	名　称	行政区	建築年度	築年数	延床面積（㎡）	複合施設				
						庁舎※1	公民館	図書室	児童館（室）	その他
1	熊本市庁舎（中央区役所）	中央区	昭和 56 年	39	39,795.84	◎				
2	市役所別館（駐輪場等）		昭和 60 年	35	3,401.16	◎				※2
3	大江交流室		昭和 62 年	33	267.03		○		○	
4	東区役所	東区	平成 23 年	9	5,036.30	◎				
5	託麻まちづくりセンター		昭和 55 年	40	350.84	○	○	○	○	
6	秋津まちづくりセンター		昭和 60 年	35	320.61		○	○	○	
7	東部まちづくりセンター		昭和 52 年	43	255.34		○	○	○	
8	西区役所	西区	平成 24 年	8	5,129.32	◎	○	○	○	
9	河内まちづくりセンター		昭和 58 年	37	2,766.50	○				
10	河内まちづくりセンター芳野分室		昭和 58 年	37	190.09	○				※3
11	花園まちづくりセンター		平成 2 年	30	158.78		○	○	○	
12	南区役所	南区	平成 7 年	25	3,842.29	◎				
13	飽田まちづくりセンター		平成 8 年	24	1,066.02		○	○		
14	天明まちづくりセンター		平成 3 年	29	954.42	○	○	○	○	※4
15	幸田まちづくりセンター		昭和 57 年	38	265.49	○	○	○	○	
16	南部まちづくりセンター		昭和 62 年	33	280.60		○	○	○	
17	城南まちづくりセンター		昭和 59 年	36	5,248.34	○				
18	北区役所	北区	平成 3 年	29	6,963.77	◎				
19	北部まちづくりセンター		平成元年	31	3,422.19		○	○		※5
20	清水まちづくりセンター		昭和 59 年	36	261.41	○	○	○	○	
21	龍田まちづくりセンター		昭和 54 年	41	346.25	○	○	○	○	
合　計					80,322.59					

※1　◎･･･本庁舎･区役所、○･･･総合出張所･総合出張所分室
　　※サービスコーナーは平成 31 年 3 月 29 日をもって廃止
※2　４階以下は有料駐輪場
※3　芳野コミュニティセンター併設
※4　天明ホール併設
※5　北部土木センター併設

②配置状況

図表　施設配置図：全体（平成 31 年 4 月 1 日現在）



2）実態把握

①運営状況

庁舎開庁時間　8：30～17：15　【閉庁日　土日祝日・年末年始】

区役所・総合出張所で取り扱う主な業務（平成 31 年 4 月 1 日現在）

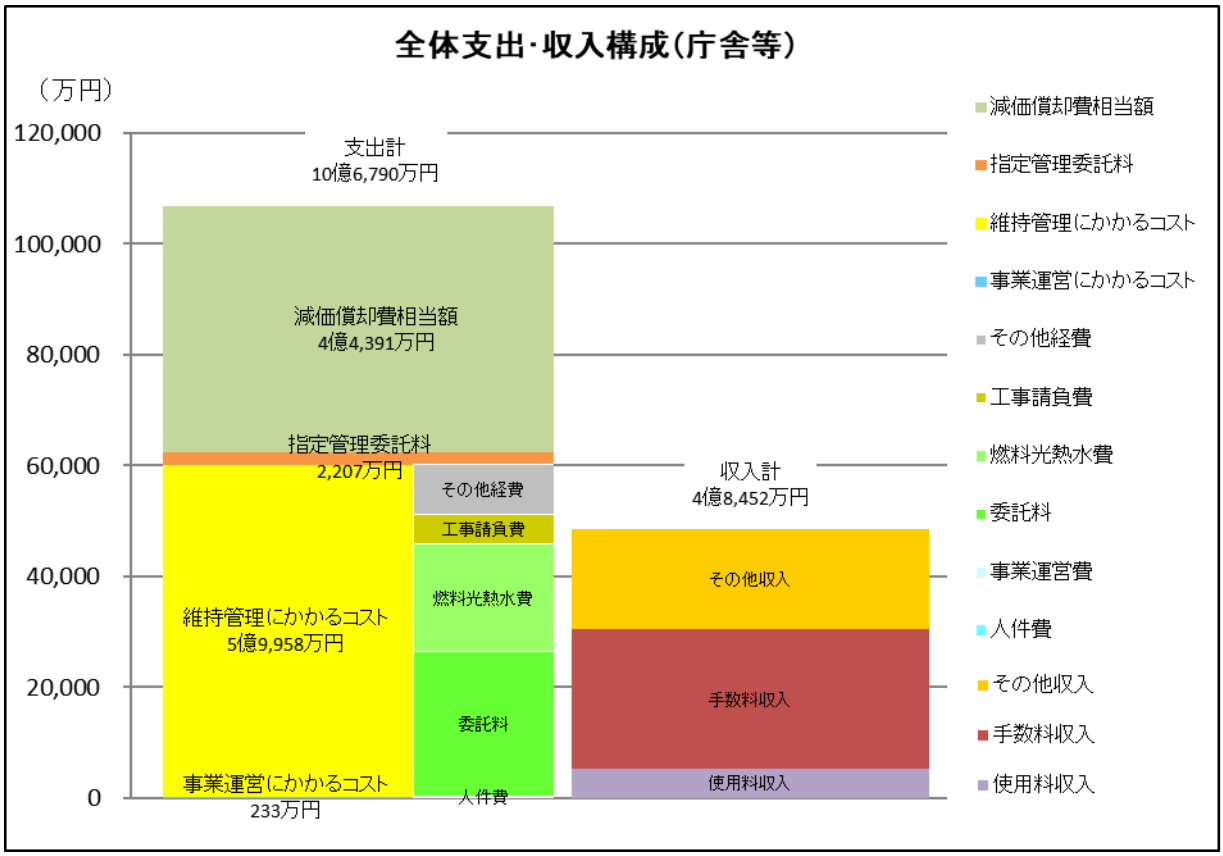
主な手続き			手続き場所	
			区役所	総合出張所・分室
住民関係				
	住民票	住民票の写し、住民票記載事項証明（世帯全員・一部）	●	●
		除かれた住民票の写し（除票）	●	●
		不在住証明	●	●
	戸籍関係証明書	戸籍全部事項証明（戸籍謄本）、戸籍個人事項証明（戸籍抄本）	●	●
		戸籍附票（全部・一部）	●	●
		除票、改正原戸籍、身分証明、届書受理証明、不在籍証明など特殊な証明	●	●
	個人番号カード、通知カード、公的個人認証サービスに関すること		●	▲
	印鑑登録証明		●	●
	印鑑登録		●	●
	各種届出（転入・転出・転居・出生・死亡・婚姻など）		●	●
	国民健康保険・後期高齢者医療保険・国民年金に関すること		●	●
税関係				
	納税証明（市県民税・固定資産税・法人市民税・軽自動車税等）		●	●
	所得・課税証明（市県民税）		●	●
	固定資産税証明（資産・評価・公価・無資産）		●	●
	自動車臨時運行許可、原付・小型特殊自動車の標識交付・廃車・名義変更		●	●
	市税の収納		●	●
保健福祉・子育て関係				
	保険料の収納（国民健康保険・後期高齢者医療保険・介護保険）		●	●
	要介護認定、さくらカード、り災証明に関すること		●	●
	障がい福祉に関すること（重度心身障がい者医療費助成、障がい者手帳、療育手帳など）		●	●
	自立支援医療に関すること（精神通院・更生医療）		●	●
	生活保護に関すること		●	▲
	ひまわりカード、児童手当・児童扶養手当、ひとり親医療、親子健康手帳に関すること		●	●
	その他（福祉タクシー券、日常生活用具給付、有料道路割引、NHK受信料減免、改葬許可など）		●	●

②コスト状況

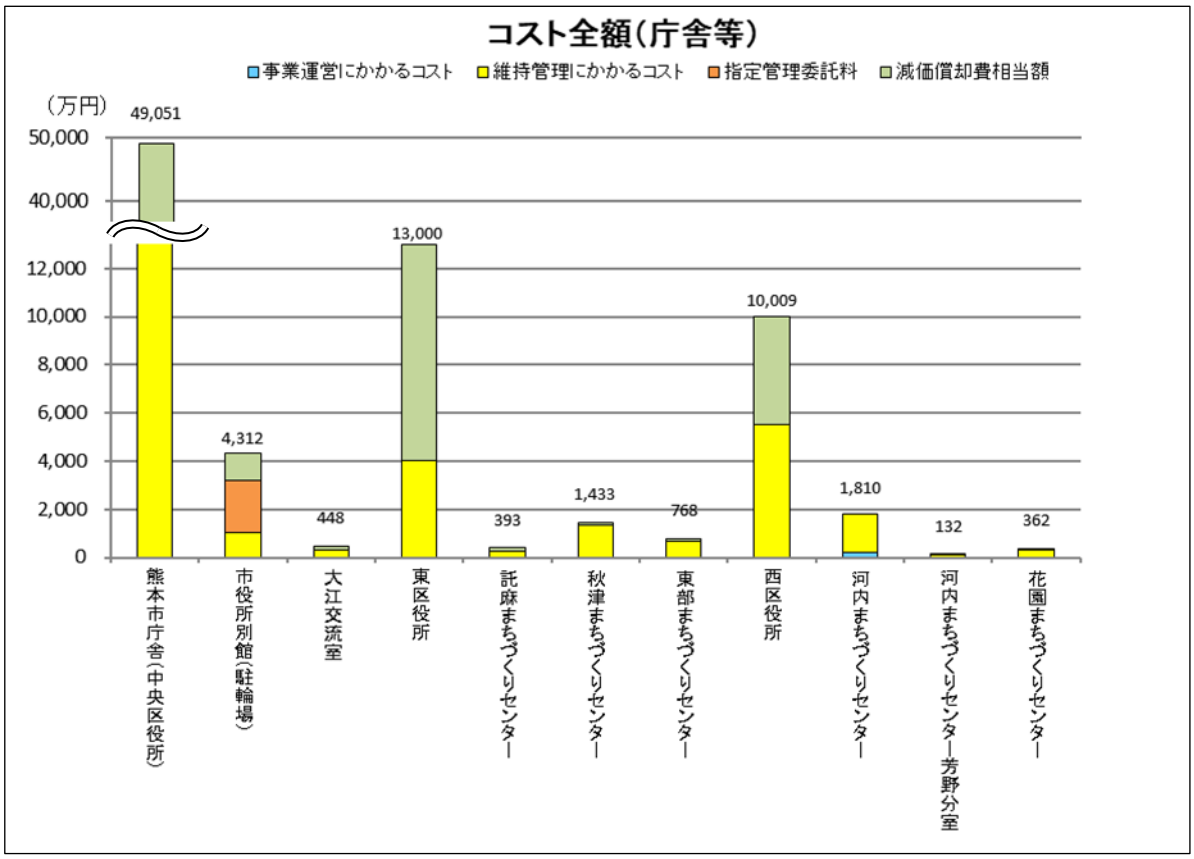
年間トータルコストは、10 億 6,790 万円です。このうち、減価償却費相当額は 4 億 4,391 万円（42%）、維持管理にかかるコストは 5 億 9,958 万円（56%）で、指定管理委託料にかかるコストは 2,207 万円（2%）です。

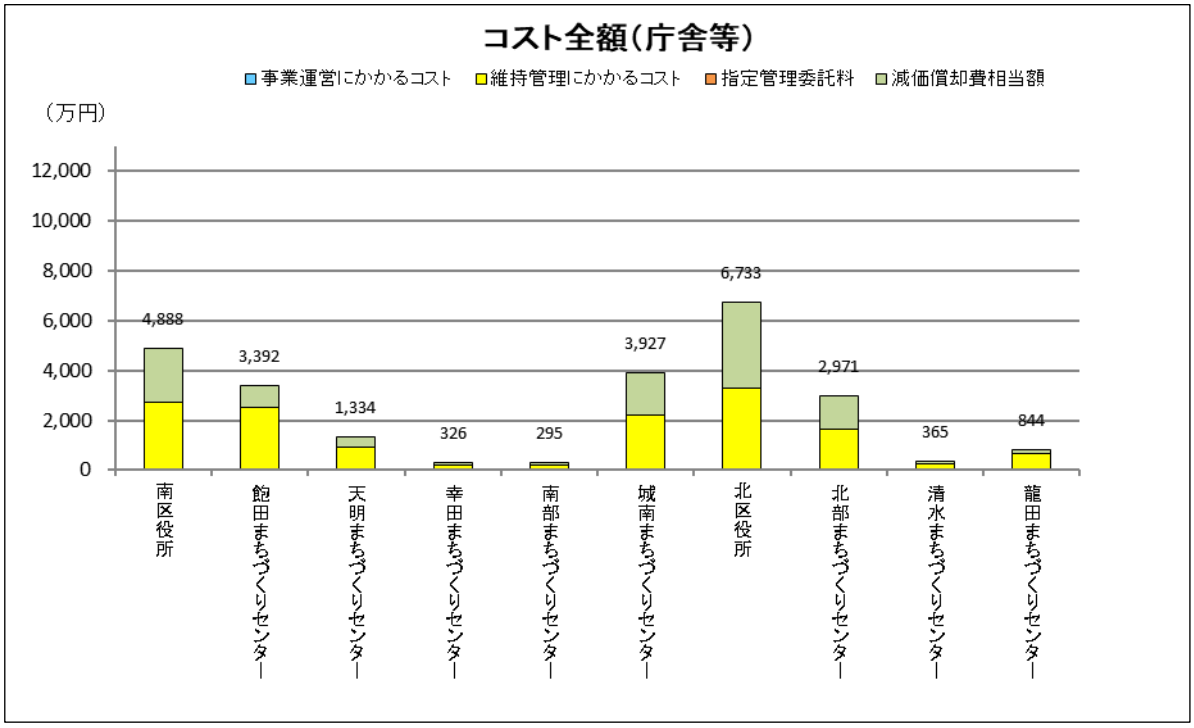
施設別コストで比較すると、熊本市庁舎の 4 億 9,051 万円が最も高く、次いで東区役所の 1 億 3,000 万円となっています。

図表　全施設トータルコスト（平成 30 年度）



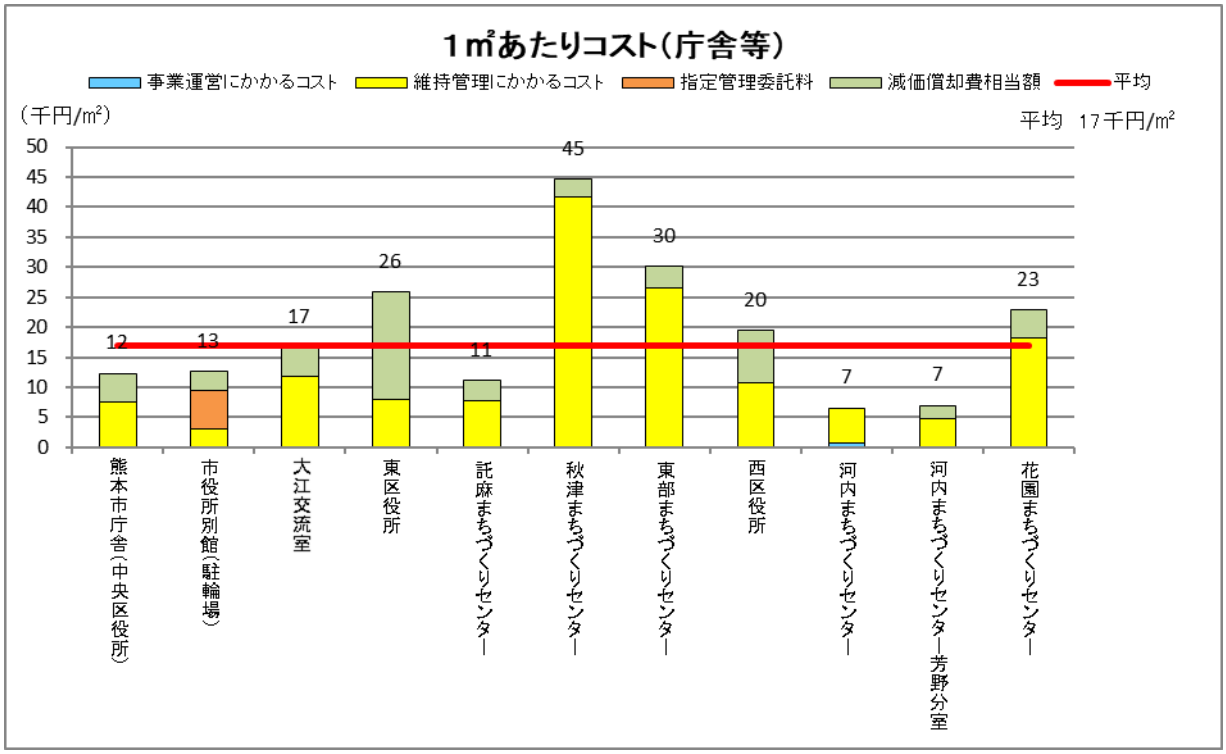
図表　施設別コスト一覧（平成 30 年度）

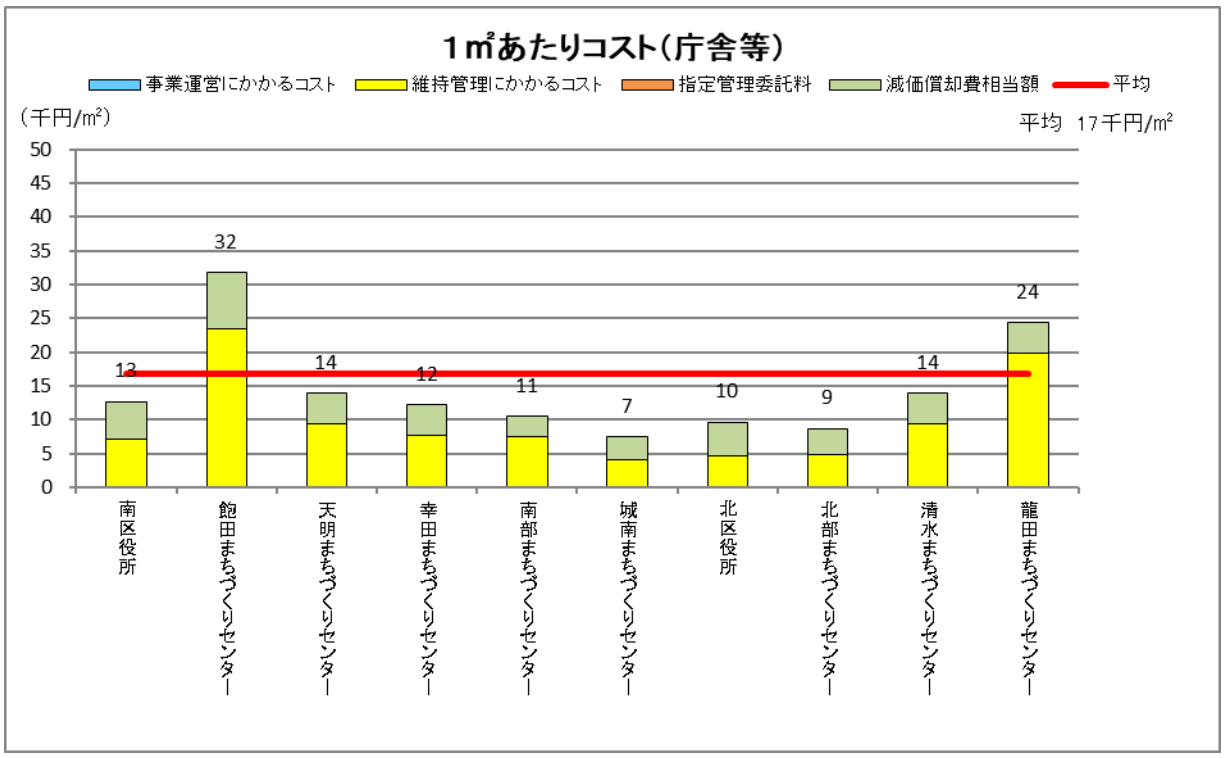




施設別の延床 1 ㎡あたりコストの平均は、17 千円／㎡です。最も高いのは、秋津まちづくりセンターの 45 千円／㎡です。

図表　施設別延床 1 ㎡あたりコスト（平成 30 年度）



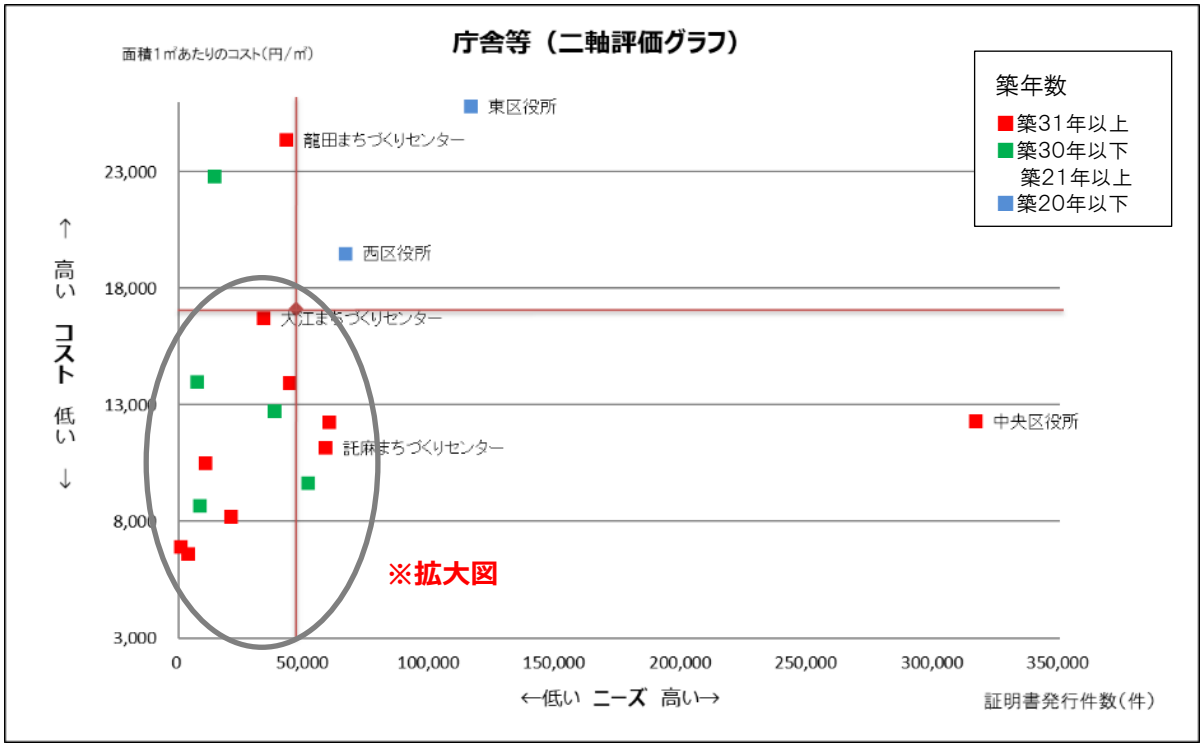


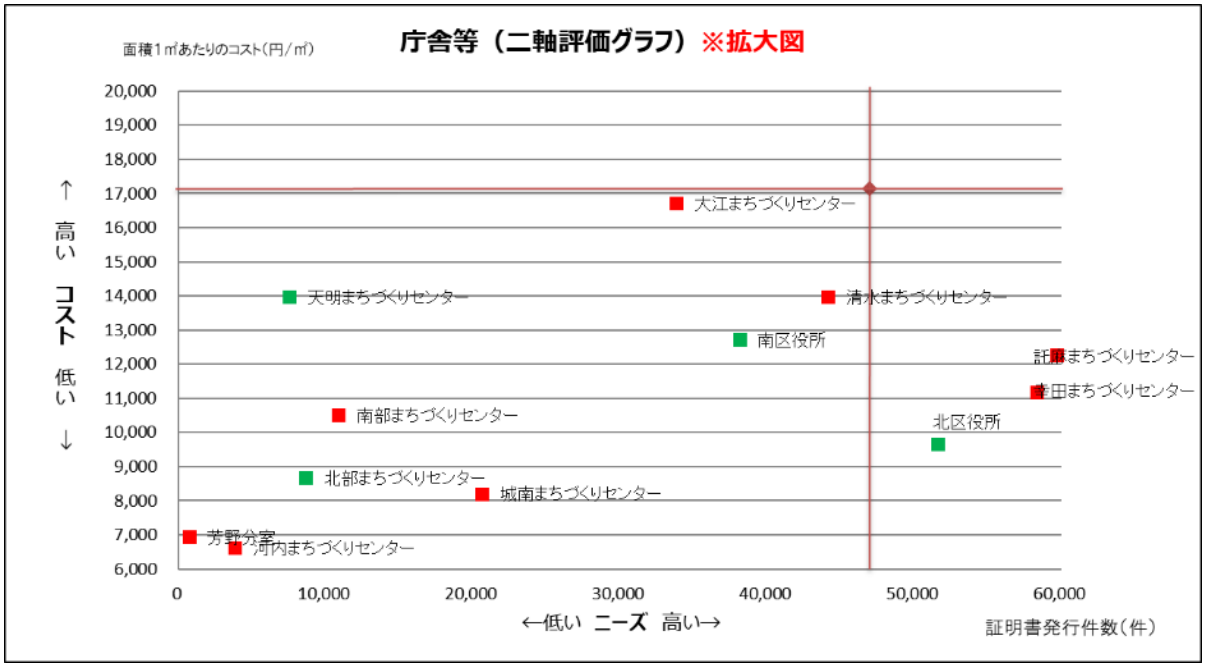
③評価・分析

下図では、コストを面積 1 ㎡あたりコスト、ニーズを証明書発行件数として各施設をプロットしています。証明書発行数は、年間 1 千件から 32 万件程度まで、大きな開きがあります。

横軸である証明書発行件数の平均は 46,928 件で、縦軸である面積 1 ㎡あたりコストの平均は 17,093 円/㎡です。

図表 二軸評価（平成 30 年度）





※証明書発行業務のない施設（市役所別館（駐輪場等））は除く。

3）総合管理計画における施設分野別方針

方針1　資産総量の適正化

・まちづくり支援機能の強化と出張所等の再編に基づき、まちづくり支援機能の強化を図るとともに各施設の利活用状況等も踏まえながら、今後の方針を検討します。

・公民館と一体的に利用されている施設も多いことから、公民館のあり方と併せて機能の見直しについて検討します。

方針2　施設の長寿命化の推進

・本庁舎については、今後、中長期保全策の検討を行い、大規模改修工事の実施によって、施設の長寿命化を図ります。　※

方針3　施設運営に要する総コストの削減

・花畑町別館については、庁内での慎重な検討を踏まえ、民間活力の活用を含め、跡地利用に関する方針を決定します。　※

※　本庁舎の整備等については、現在検討中です。

（22）行政系施設：その他行政系施設

1）施設概要

本市のその他行政系施設は、9 施設あります。総延床面積は約 1 万 3 千㎡で、市が保有する施設の 0.5%を占めています。

築年数の状況は、築 31 年以上の施設が 4 施設、築 21 年以上 築 30 年以下が 3 施設、築 20 年以下が 2 施設です。

①施設一覧（令和２年４月１日現在）

No	名　称	所 在 地	建築年度	築年数	延床面積（㎡）	設置目的
1	ふれあい文化センター	中央区本荘 4 丁目 6 番 6 号	昭和 51 年	44	1,849.43	市民のふれあいと連携を図るとともに、その生活文化及び福祉の向上に資するため。
2	植木ふれあい文化センター	北区植木町宮原 912 番地	昭和 55 年	40	774.40	地域社会全体の中で福祉の向上及び人権啓発のための住民交流の拠点となる施設として、生活上の各種相談事業及び人権課題を解決するための各種事業を総合的に行うため。
3	森林学習館	北区貢町小萩	昭和 60 年	35	452.36	市民が森林とのふれあいを通じて緑化及び自然保護に対する意識の高揚を図るための学習、活動の場として設置
4	環境総合センター	東区画図町大字所島 404 番地 1	平成 6 年	26	4,270.85	環境の保全及び保健衛生の向上に対する意識の高揚を図るため
5	計量検査所	東区水源 2 丁目 1 番 4 号	平成元年	31	540.95	計量制度に基づき、定期検査や立入検査等を実施し、消費者保護や住民サービスの向上に寄与するため。
6	立田山憩の森管理センター	北区龍田陳内 2 丁目 43 番 23 号	平成 7 年	25	170.00	生活環境保全林「立田山憩の森」の保全維持管理をする管理人の常駐所、資材保管、機材設置のため
7	小島河川防災センター	西区小島 6 丁目 10 番 10 号	平成 14 年	18	580.80	河川における洪水時等においての円滑かつ効果的な水防活動、緊急復旧活動等を行う拠点施設として設置
8	東区土木センター	東区佐土原 3 丁目 1 番 65 号	平成 27 年	5	2,148.06	行政庁舎
9	中央・西区土木センター	西区蓮台寺 5 丁目 7 番 1 号	平成 2 年	30	2,579.50	行政庁舎
合　計					13,366.35	

※ 南区土木センターについては、南区役所内に併設されています。

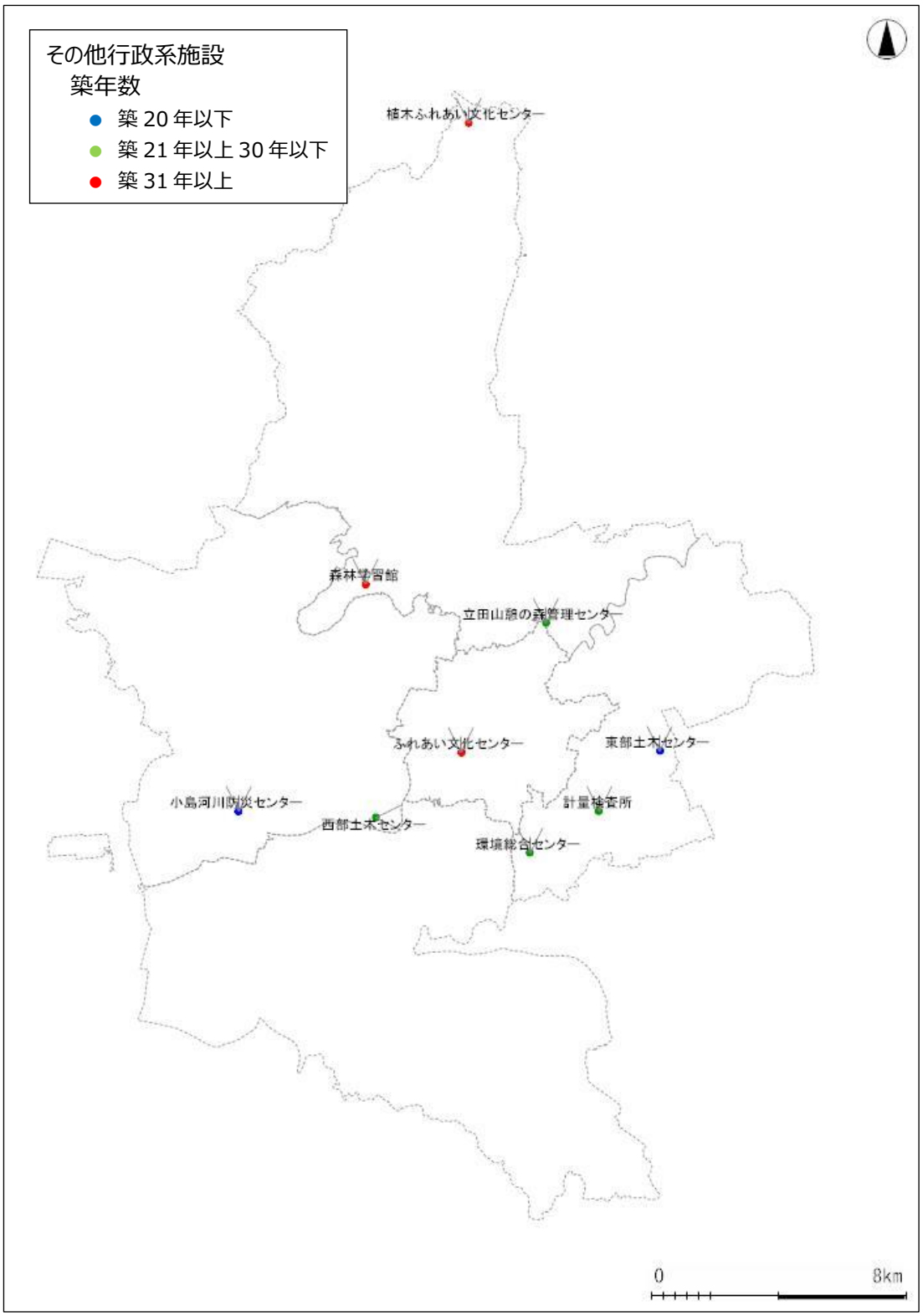
※ 北区土木センターについては、北部まちづくりセンター内に併設されています。

計量検査所

東区土木センター

②配置状況.

図表　施設配置図：全体（平成 31 年 4 月 1 日現在）



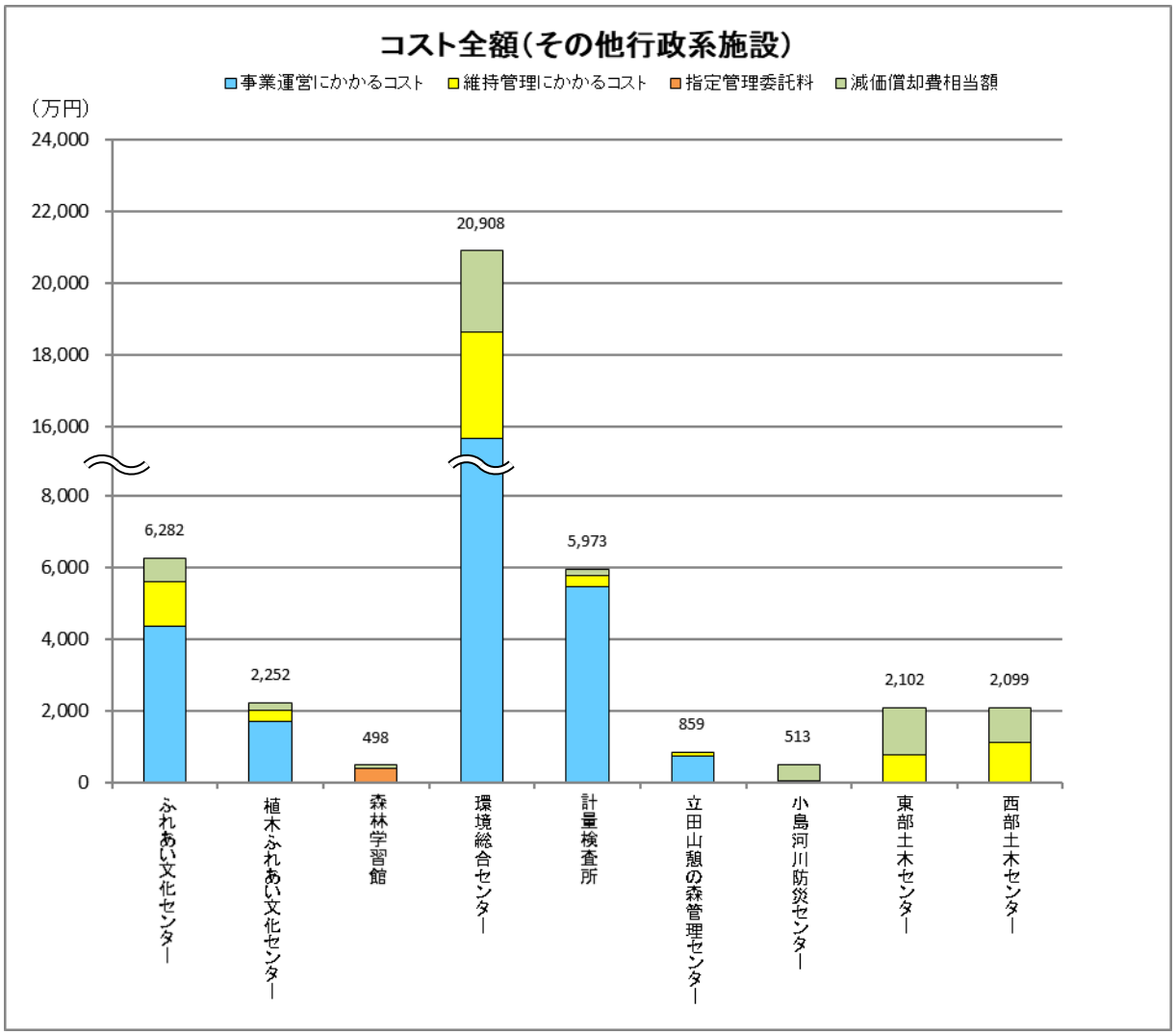
その他行政系施設は、南区を除く市内に 9 箇所配置されています。

2）実態把握

①コスト状況（平成 30 年度実績）

施設別コストは全体で 4 億 1,487 万円です。環境総合センターの 2 億 908 万円が最も高く、次いでふれあい文化センターの 6,282 万円となっています。森林学習館は、指定管理者制度が導入されている施設です。

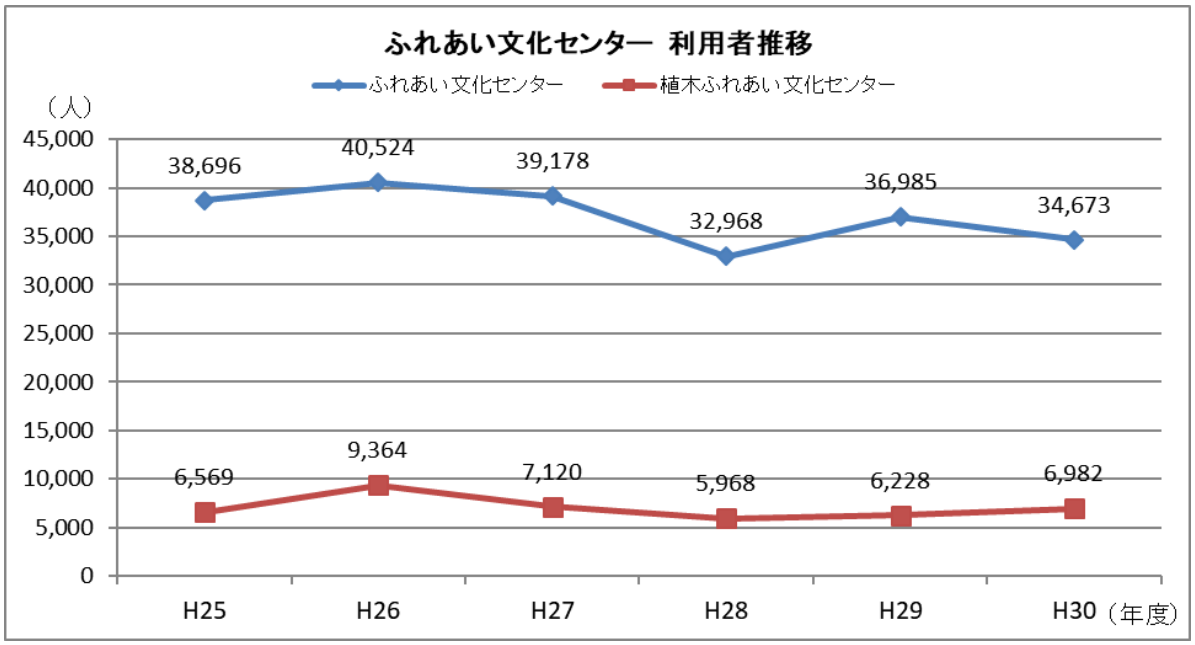
図表 施設別コスト一覧（平成 30 年度）



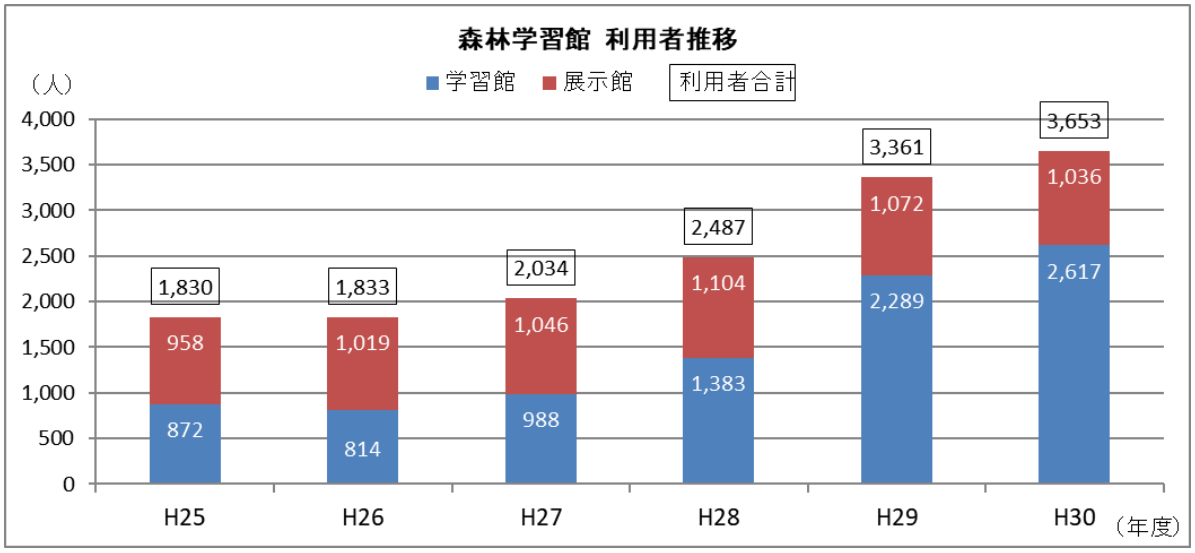
※東・西土木センターについては、庁舎等に準じて人件費を計上していません。

②各施設の利用状況（平成 25 年度から 30 年度）

○ふれあい文化センター

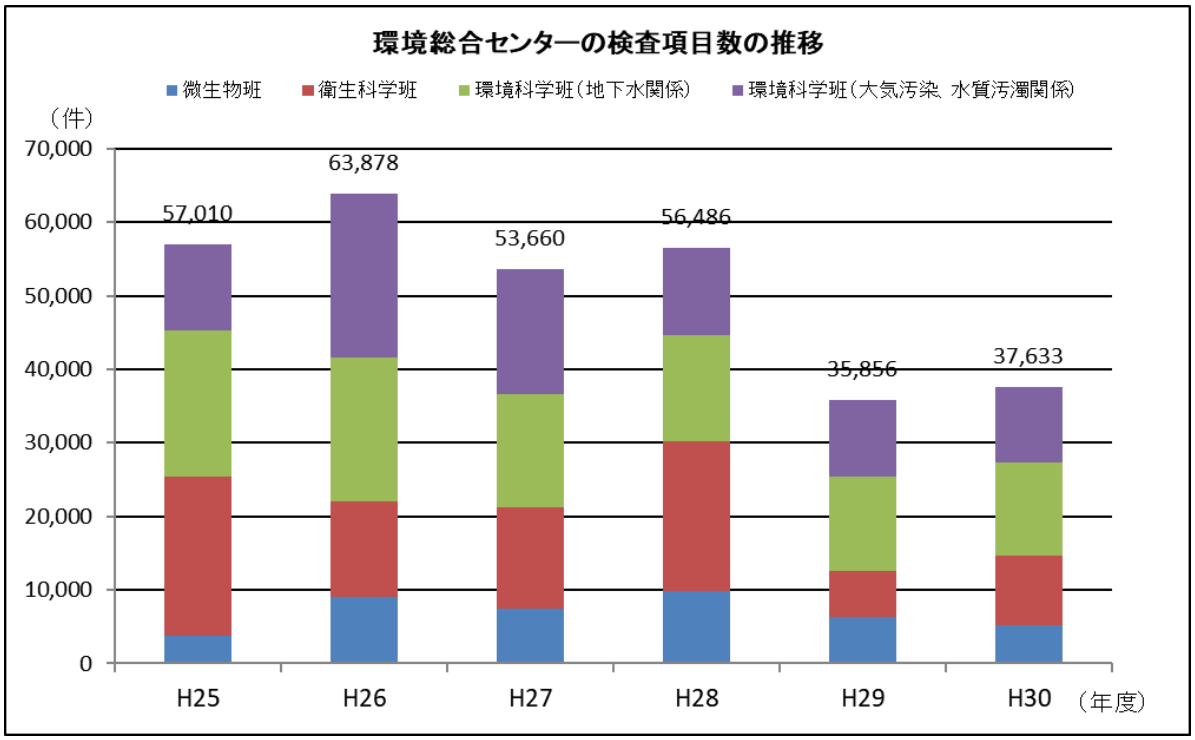


○森林学習館



森林学習館

○環境総合センター



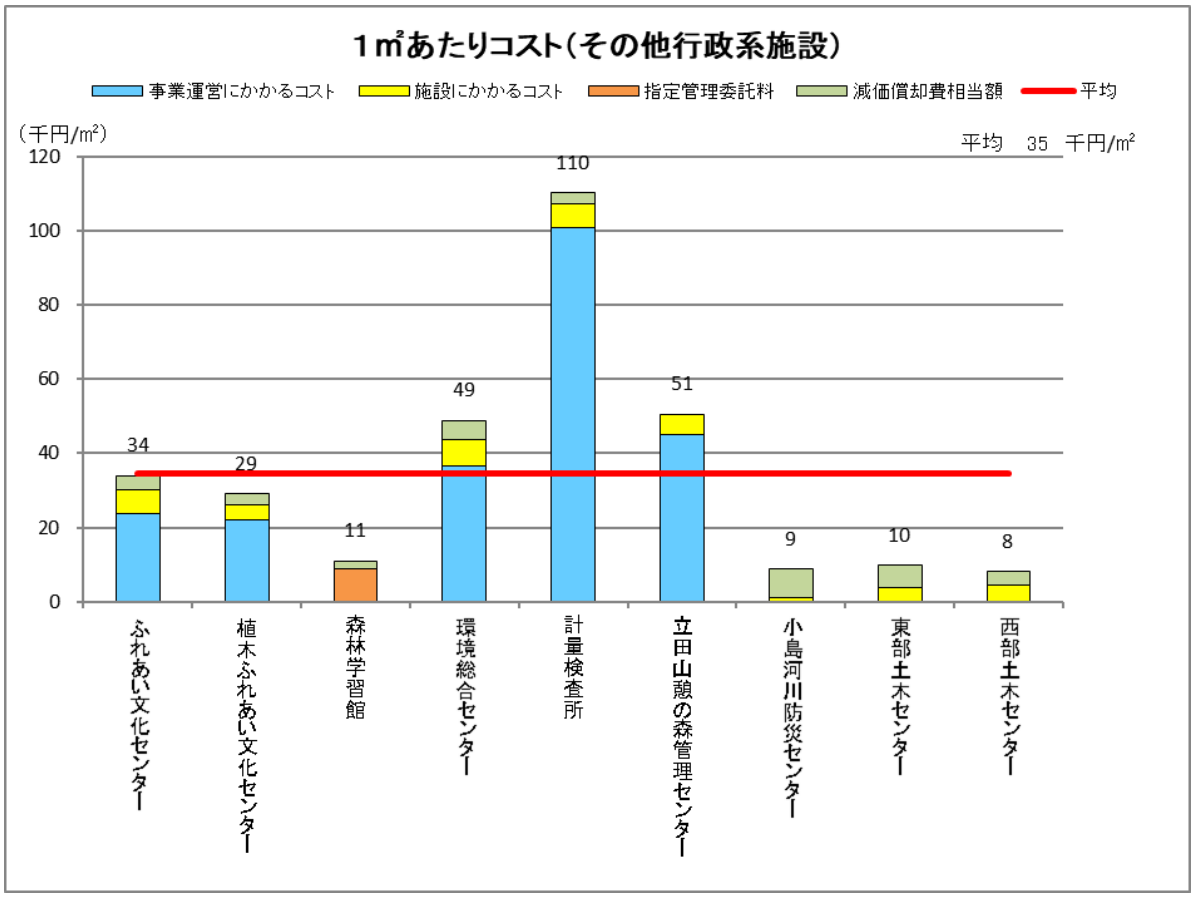
環境総合センター（外観）

環境総合センター（ホール）

③評価・分析

施設別の延床 1 ㎡あたりコストの平均は、35 千円／㎡です。

図表　施設別延床 1 ㎡あたりコスト（平成 30 年度）



4）総合管理計画における施設分野別方針

方針1　資産総量の適正化

・単体で設置されている施設については、老朽化の状況を踏まえながら、他施設との統合や機能移転について長期的な視点で検討します。

・他の公共施設との機能の重複や市域内での配置状況を踏まえ、老朽化が進んだ際には施設の廃止、跡地の売却等について検討します。

（23）行政系施設：消防施設

1）施設概要

本市の消防庁舎施設は、消防庁舎が 21 施設、消防団機械倉庫が 161 施設、合計 182 施設あり、消防団機械倉庫のうち、集会施設機能を持つ消防コミュニティセンターは 82 施設あります。延床面積は消防庁舎が約 2 万 3 千㎡、消防団機械倉庫が約 7 千㎡（このうち、消防コミュニティセンターが約 5 千㎡）です。総延床面積は約 2 万 9 千㎡で、消防施設全体で市が保有する施設の 1.2%を占めています。

消防庁舎の築年数の状況は、築 31 年以上の施設が 10 施設、築 21 年以上 築 30 年以下が 4 施設、築 20 年以下が 7 施設です。また、消防コミュニティセンターの築年数の状況は、築 31 年以上の施設が 22 施設、築 21 年以上 築 30 年以下が 30 施設、築 20 年以下が 30 施設です。

消防庁舎には、消防・救急関係車両が合計で 127 台配備されていますが、消防コミュニティセンターにも小型可搬ポンプ付積載車またはポンプ車が配備されています。

①施設一覧（令和２年４月１日現在）

消防庁舎

No	名　称	所 在 地	建築年度	築年数	延床面積（㎡）	消防・救急配備車両数	職員数（会計年度任用職員含む）	備　考
1	市消防局・中央消防署	中央区大江 3 丁目 1 番 3 号	昭和 59 年	36	6,745.28	28	76	
2	南熊本庁舎	中央区南熊本 3 丁目 8 番 25 号	昭和 55 年	40	250.44	2	9	
3	出水出張所	中央区水前寺公園 13 番 40 号	昭和 55 年	40	245.25	3	21	
4	東消防署	東区東町 4 丁目 6 番 17 号	昭和 53 年	42	2,326.17	13	71	
5	託麻出張所	東区下南部 1 丁目 3 番 137 号	平成 9 年	23	419.81	3	21	
6	小山出張所	東区小山 4 丁目 4 番 22 号	平成 6 年	26	409.97	3	19	
7	西消防署	中央区米屋町 1 丁目 12 番地 1	昭和 62 年	33	2,822.19	13	68	
8	池田庁舎	西区池田 2 丁目 4 番 43 号	昭和 63 年	32	322.53	2	9	
9	田崎出張所	西区田崎 2 丁目 2 番 36 号	平成 3 年	29	408.80	4	19	
10	小島出張所	西区小島 8 丁目 10 番 20 号	昭和 56 年	39	251.74	3	19	
11	島崎出張所	西区島崎 2 丁目 17 番 23 号	平成 16 年	16	529.66	3	21	
12	河内出張所	西区河内町野出 1891 番地 1	昭和 59 年	36	368.83	3	19	
13	南消防署	南区平田 2 丁目 13 番 1 号	平成 25 年	7	1,900.89	13	69	
14	川尻出張所	南区南高江 2 丁目 15 番 53 号	昭和 53 年	42	292.82	3	21	
15	飽田天明出張所	南区白石町 385 番地 1	昭和 59 年	36	368.88	3	19	
16	富合出張所	南区富合町田尻 445 番地 5	平成 25 年	7	416.75	3	19	
17	城南出張所	南区城南町さんさん 1 丁目 1 番地 1	平成 27 年	5	454.74	3	19	
18	北消防署	北区四方寄町 514 番地 1	平成 27 年	5	2,012.62	11	67	
19	清水出張所	北区清水亀井町 12 番 22 号	平成 5 年	27	407.82	3	19	
20	楠出張所	北区楠 5 丁目 7 番 60 号	平成 22 年	10	533.40	3	21	
21	植木出張所	北区植木町山本 739 番地 2	平成 12 年	20	1,310.60	5	19	
合　計					22,799.19	127	645	

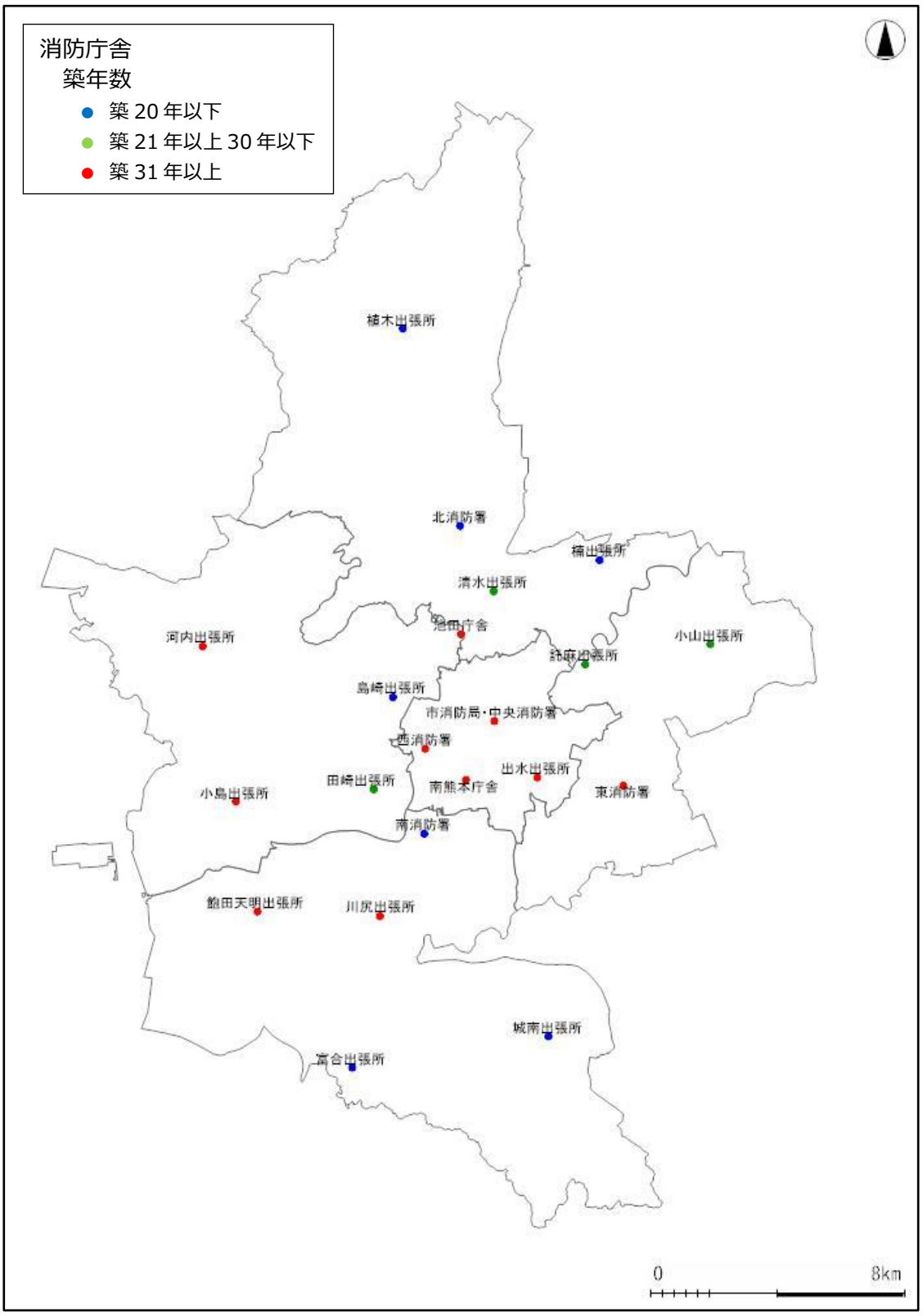
消防コミュニティセンター

No	名　称	所 在 地	建築年度	築年数	延床面積(㎡)
1	消防団第 1 分団 2 部(秋津校区)機械倉庫	熊本市東区沼山津 2 丁目 1518 番地 3	平成 13 年	19	54.67
2	消防団第 2 分団(若葉校区)機械倉庫	熊本市東区若葉 6 丁目 6 番 29 号	平成 6 年	26	54.67
3	消防団第 3 分団(泉ヶ丘校区)機械倉庫	熊本市東区水源 2 丁目 1 番 4 号	平成 3 年	29	54.67
4	消防団第 4 分団(健軍校区)機械倉庫	熊本市東区健軍本町 16 番地	平成 2 年	30	54.67
5	消防団第 5 分団(尾ノ上校区)機械倉庫	熊本市東区京塚本町 1774 番地 7	平成 14 年	18	54.67
6	消防団第 6 分団(西原校区)機械倉庫	熊本市東区保田窪本町 9 番地	平成 4 年	28	54.66
7	消防団第 7 分団(帯山校区)機械倉庫	熊本市中央区帯山 1 丁目 2186 番地 3	平成 19 年	13	56.40
8	消防団第 8 分団(砂取校区)機械倉庫	熊本市中央区神水本町 45 番地 1	平成 9 年	23	63.50
9	消防団第 9 分団 3 部(画図校区)機械倉庫	熊本市東区画図町下無田 1695 番地	平成 4 年	28	54.67
10	消防団第 11 分団(白山校区)機械倉庫	熊本市中央区白山 2 丁目 6 番 6 号	昭和 64 年	31	54.67
11	消防団第 12 分団 2 部(白川校区)機械倉庫	熊本市中央区九品寺 4 丁目 23 番 15 号	平成 20 年	12	54.68
12	消防団第 13 分団(大江校区)機械倉庫	熊本市中央区大江 6 丁目 1 番 11 号	昭和 63 年	32	54.67
13	消防団第 14 分団(託麻原校区)機械倉庫	熊本市中央区渡鹿 4 丁目 617 番 2 号	平成 6 年	26	54.67
14	消防団第 15 分団(慶徳校区)機械倉庫	熊本市中央区山崎町 72 番地	平成 10 年	22	68.00
15	消防団第 16 分団(城東校区)機械倉庫	熊本市中央区中央街 12 番 6 号	平成 3 年	29	91.20
16	消防団第 17 分団(碩台校区)機械倉庫	熊本市中央区北千反畑町 5 番地 30	平成 11 年	21	71.40
17	消防団第 18 分団(壺川校区)機械倉庫	熊本市中央区壺川 1 丁目 322 番地 30	平成 5 年	27	54.67
18	消防団第 20 分団 2 部(池田校区)機械倉庫	熊本市西区池田 2 丁目 666 番地	平成 19 年	13	54.67
19	消防団第 21 分団 1 部(高平台校区)機械倉庫	熊本市北区高平 1 丁目 749 番 2 号	昭和 64 年	31	54.68
20	消防団第 22 分団 2 部(黒髪校区)機械倉庫	熊本市中央区黒髪 6 丁目 397 番地 2	平成 4 年	28	54.66
21	消防団第 23 分団(清水校区)機械倉庫	熊本市北区兎谷 1 丁目 617 番 1 号の内	平成 16 年	16	54.67
22	消防団第 24 分団(城北校区)機械倉庫	熊本市北区清水新地 2 丁目 619 番 1 号	平成 17 年	15	54.67
23	消防団第 25 分団 2 部(龍田校区)機械倉庫	熊本市北区龍田 7 丁目 40 番 1 号	平成 2 年	30	54.67
24	消防団第 26 分団 1 部(託麻北校区)機械倉庫	熊本市東区石原 2 丁目 459 番地 2	平成 7 年	25	64.13
25	消防団第 27 分団(託麻西校区)機械倉庫	熊本市東区御領 2 丁目 516 番地 3	平成 16 年	16	54.67
26	消防団第 28 分団 1 部(託麻東校区)機械倉庫	熊本市東区戸島 5 丁目 3984 番地 4	平成 13 年	19	54.67
27	消防団第 29 分団 1 部(御幸校区)機械倉庫	熊本市南区御幸笛田 6 丁目 2056 番 2 号	昭和 63 年	32	54.67
28	消防団第 30 分団(田迎校区)機械倉庫	熊本市南区田迎 3 丁目 115 番 4 号	平成 12 年	20	71.40
29	消防団第 31 分団 2 部(春竹校区)機械倉庫	熊本市中央区南熊本 1 丁目 3 番 3 号	昭和 63 年	32	54.67
30	消防団第 32 分団(本荘校区)機械倉庫	熊本市中央区本荘 4 丁目 2 番地 1	昭和 62 年	33	54.67
31	消防団第 33 分団 1 部(向山校区)機械倉庫	熊本市中央区本山 4 丁目 352 番地	平成 8 年	24	54.68
32	消防団第 34 分団 2 部(白坪校区)機械倉庫	熊本市西区蓮台寺 5 丁目 674 番地 1	平成 8 年	24	54.67
33	消防団第 35 分団(古町校区)機械倉庫	熊本市西区二本木 2 丁目 311 番 12 号	昭和 64 年	31	54.67
34	消防団第 36 分団(春日校区)機械倉庫	熊本市西区春日 6 丁目 507 番地 1	平成 22 年	10	57.11
35	消防団第 38 分団(一新校区)機械倉庫	熊本市中央区新町 1 丁目 10 番 85 号	平成 9 年	23	65.47
36	消防団第 39 分団(城西校区)機械倉庫	熊本市西区島崎 5 丁目 404 番地	平成 20 年	12	54.30
37	消防団第 40 分団 1 部(池上校区)機械倉庫	熊本市西区谷尾崎町 439 番地 2	平成 5 年	27	54.67
38	消防団第 41 分団(高橋校区)機械倉庫	熊本市西区高橋町 1 丁目 88 番地	昭和 64 年	31	54.67
39	消防団第 42 分団 3 部(城山校区)機械倉庫	熊本市西区城山半田 4 丁目 423 番地 1	平成 8 年	24	54.67
40	消防団第 43 分団(松尾東校区)機械倉庫	熊本市西区上松尾町 2847 番地 1	平成 2 年	30	57.70
41	消防団第 44 分団 1 部(松尾西校区)機械倉庫	熊本市西区西松尾町 3873 番地 1	平成 4 年	28	54.67

No	名　称	所 在 地	建築年度	築年数	延床面積(㎡)
42	消防団第 45 分団(松尾北校区)機械倉庫	熊本市西区松尾町平山 932 番地	平成 6 年	26	54.27
43	消防団第 46 分団 3 部(小島校区)機械倉庫	熊本市西区小島下町字高古閑 4212 番地	平成 3 年	29	56.30
44	消防団第 47 分団 4 部(中島校区)機械倉庫	熊本市西区沖新町字下塘 3996 番地 4	昭和 62 年	33	54.67
45	消防団第 48 分団 1 部(日吉校区)機械倉庫	熊本市南区日吉 2 丁目 1134 番地 2 号	平成 30 年	2	57.10
46	消防団第 49 分団 1 部(力合校区)機械倉庫	熊本市南区島町 5 丁目 1112 番地 1	昭和 63 年	32	54.67
47	消防団第 50 分団 1 部(川尻校区)機械倉庫	熊本市南区川尻 4 丁目 764 番地	平成 5 年	27	54.67
48	消防団第 51 分団(楠校区)機械倉庫	熊本市北区楠 5 丁目 1 番 5 号	平成 18 年	14	54.67
49	消防団第 52 分団(東町校区)機械倉庫	熊本市東区佐土原 3 丁目 3503 番 2 号	平成 15 年	17	54.67
50	消防団第 53 分団(桜木校区)機械倉庫	熊本市東区桜木 2 丁目 4 番 13 号	平成 18 年	14	52.04
51	消防団第 54 分団(麻生田校区)機械倉庫	熊本市北区麻生田 2 丁目 1164 番地	平成 8 年	24	54.67
52	消防団第 55 分団(月出校区)機械倉庫	熊本市東区山ノ内 2 丁目 3024 番地 6	平成 23 年	9	54.14
53	消防団第 56 分団(武蔵校区)機械倉庫	熊本市北区武蔵ヶ丘 3 丁目 1812 番地 42	平成 15 年	17	54.67
54	消防団第 57 分団(田迎南校区)機械倉庫	熊本市南区良町 2 丁目 1181 番地 1	平成 14 年	18	54.67
55	消防団第 58 分団(弓削校区)機械倉庫	熊本市北区龍田町弓削 1002 番地	平成 14 年	18	54.67
56	消防団第 59 分団(託麻南校区)機械倉庫	熊本市東区長嶺東 4 丁目 1156 番地 3	平成 2 年	30	54.67
57	消防団第 60 分団(城南校区)機械倉庫	熊本市南区南高江 1 丁目 762 番 2 号	平成 15 年	17	54.67
58	消防団第 62 分団 3 部(飽田東校区)機械倉庫	熊本市南区浜口町字中才蓮 76 番地 8	平成 24 年	8	57.10
59	消防団第 63 分団 2 部(飽田南校区)機械倉庫	熊本市南区護藤町字小藤 1141 番地 2	平成 5 年	27	54.67
60	消防団第 64 分団(飽田西校区)機械倉庫	熊本市南区畠口町北屋敷 64 番地 1	平成 12 年	20	54.67
61	消防団第 65 分団 1 部(中緑校区)機械倉庫	熊本市南区中無田御供田 734 番地	昭和 64 年	31	49.20
62	消防団第 65 分団 2 部(中緑校区)機械倉庫	熊本市南区美登里町北ノ内 724 番地 2	昭和 64 年	31	49.20
63	消防団第 66 分団 1 部(銭塘校区)機械倉庫	熊本市南区銭塘町西本田 1301 番地 2	昭和 64 年	31	49.20
64	消防団第 66 分団 2 部(銭塘校区)機械倉庫	熊本市南区内田町三反田 2213 番地 3	昭和 64 年	31	49.20
65	消防団第 66 分団 3 部(銭塘校区)機械倉庫	熊本市南区内田町西 892 番地 2	昭和 64 年	31	49.20
66	消防団第 67 分団 1 部(奥古閑校区)機械倉庫	熊本市南区奥古閑町五町田 1902 番地 7	昭和 64 年	31	49.20
67	消防団第 67 分団 2 部(奥古閑校区)機械倉庫	熊本市南区奥古閑町字永開 4328 番地	昭和 64 年	31	49.20
68	消防団第 67 分団 4 部(奥古閑校区)機械倉庫	熊本市南区海路口町浦田一番割 3299 番地 2	昭和 64 年	31	49.20
69	消防団第 69 分団 1 部(川口校区)機械倉庫	熊本市南区川口町古堤 4538 番地 24	昭和 64 年	31	49.20
70	消防団第 69 分団 2 部(川口校区)機械倉庫	熊本市南区川口町字前 1017 番地 5	昭和 64 年	31	49.20
71	消防団第 70 分団 1 部(河内校区)機械倉庫	熊本市西区河内町船津 2069 番地 3	平成 12 年	20	54.67
72	消防団第 71 分団 3 部(芳野校区)機械倉庫	熊本市西区河内町東門寺字外鶴 494 番地 1	平成 6 年	26	54.68
73	消防団第 72 分団 2 部(川上校区)機械倉庫	熊本市北区明徳町 953 番地 2	昭和 58 年	37	45.73
74	消防団第 72 分団 4 部(川上校区)機械倉庫	熊本市北区鹿子木町塔ノ本 57 番地 4	平成 2 年	30	68.04
75	消防団第 72 分団 4 部(川上校区)機械倉庫	熊本市北区鹿子木町塔ノ本 53 番地 1	平成 21 年	11	57.11
76	消防団第 73 分団 1 部(北部東校区)機械倉庫	熊本市北区梶尾町 340 番地	昭和 53 年	42	53.10
77	消防団第 73 分団 2 部(北部東校区)機械倉庫	熊本市北区鶴羽田 5 丁目 918 番地 2 の一部	平成 13 年	19	54.67
78	消防団第 74 分団 1 部(西里校区)機械倉庫	熊本市北区下硯川 1 丁目 1450 番地 9	平成 7 年	25	54.68
79	消防団第 77 分団(隈庄校区)機械倉庫②	熊本市南区城南町宮地1O41	平成 22 年	10	140.10
80	消防団第 78 分団(豊田校区)機械倉庫	熊本市南区城南町塚原 82 番地 3	平成 26 年	6	57.10
81	消防団第 85 分団 6 部(吉松校区)機械倉庫	熊本市北区植木町平井 560 番地 1	平成 23 年	9	53.40
82	消防団第 86 分団 4 部(山本校区)機械倉庫	熊本市北区植木町清水字松ノ本 567 番地 1	平成 25 年	7	57.10
合　計					4,644.76

②配置状況

図表　施設配置図：全体（平成 31 年 4 月 1 日現在）



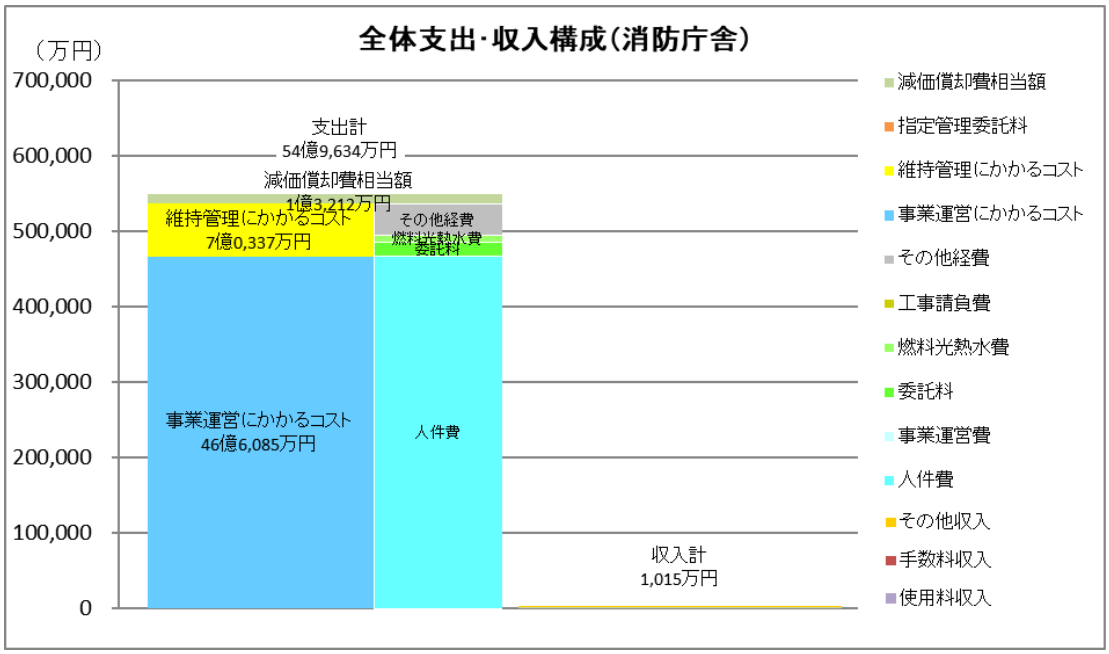
消防庁舎は、市内に 21 施設設置されています。

2）実態把握

①コスト状況

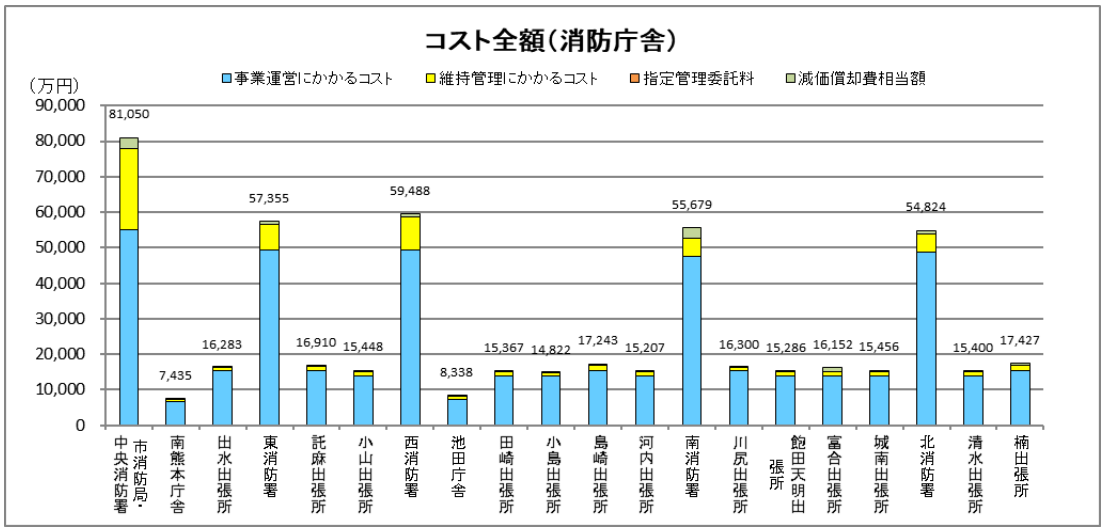
年間トータルコストは54億9,634万円です。このうち、減価償却費相当額は1億3,212万円(2%)で、維持管理にかかるコストが7億337万円（13%)、事業運営にかかるコストが46億6,085万円（85%）となっています。

図表　全施設トータルコスト（平成30年度）



施設別コストは、市消防局庁舎が約8億1,050万円で最も高く、全体の14.7%を占めています。続いて西消防署、東消防署、南消防署、北消防署がそれぞれ5億9,488万円、5億7,355万円、5億5,679万円、5億4,824万円となっています。

図表　施設別コスト一覧（平成30年度）



※消防コミュニティセンターについては、運営交付金により各消防団で維持管理が行われています。

②運営状況

消防関係出動状況について

平成 30 年 出動状況

種別	件数	出場車両台数(台)		
		総数	消防関連(消防・警戒・救助)車両	救急車
火災	202	1,171	1,171	
警戒	517	2,118	2,118	
救急	39,034	39,034		39,034
救助	260	1,208	893	315
計	40,013	43,531	4,182	39,349

3）総合管理計画における施設分野別方針

方針 1　資産総量の適正化

・消防署及び各出張所については、平成 28 年度から新たな署所体制がスタートしたことから、実際の運営状況を検証しながら、長期的な視点で効率的かつ効果的な配置について検討を進めます。

・特に西消防署の配置については、出張所の再編と併せて検討することとし、老朽化した出張所のあり方を含め、全市的な視点で計画的に取り組んでいきます。

方針 2　施設の長寿命化の推進

・消防署や出張所はもとより、消防コミュニティセンターや機械倉庫についても、不具合の改善に努め、安全に長く使用できるよう、日常のメンテナンスに努めます。

4）参考：消防広域化について

①熊本市消防局の概要

熊本市消防局は、九州のほぼ中央に位置し、熊本市だけでなく、消防事務を受託している益城町及び西原村を管轄しています。

管轄人口約 77 万人、管轄面積約 533k ㎡に、1 本部、6 消防署、15 出張所、2 庁舎を配置し、地域住民の安全・安心の確保に努めています。

②広域化に至る経緯

平成 18 年 6 月の消防組織法の一部改正に基づき、熊本県は平成 20 年 5 月に、県内を城北、中央、城南、天草の 4 つのブロックに分けて広域化を目指すとした「熊本県消防広域化推進計画」を策定しました。

この計画を受け、熊本市消防局（熊本市）、高遊原南消防本部（益城町、西原村）など 4 つの消防本部から構成された中央ブロックは、平成 21 年 11 月に「中央ブロック消防広域化協議会」を設置し、広域化の効果や財政シミュレーションなど、広域化に向けた様々な検討を行いました。その結果、平成 25 年 3 月の第 10 回協議会において、益城町、西原村の熊本市への事務委託方式による広域化について最終合意し、平成 26 年 4 月 1 日から広域化を開始しました。

③広域化の効果

○現場部隊の増強

消防本部機能の統合によって、管理部門の人員を減らすことができたため、警防人員を拡充しました。西原村の西原出張所は、従来は救急車のみの 8 時間運用でしたが、広域化後は人員を増やして、ポンプ車も配備したうえで 24 時間運用となりました。

○初動部隊の増強

益城町、西原村の災害に対する初動部隊について、熊本市域の消防署所からも出場することとして増強を行いました。例えば、通常の建物火災では、従来は 3 隊が出場していましたが、広域化後は 7 隊となりました。

○現場到着時間の短縮

熊本市消防局の指令管制システムを活用して、119 番通報から出場までの時間を短縮しました。また、出場してから現場到着までの時間についても、最寄りの消防署所から出場することとしており、益城町や西原村だけでなく熊本市においても、特に境界付近のエリアにおいて時間を短縮しました。

○災害規模に応じた対応力強化

益城町、西原村においても、災害規模に応じて、熊本市消防局の部隊の追加投入が可能となりました。

（24）供給処理施設

1）施設概要

本市の供給処理施設は、9 施設あります。総延床面積は約 5 万 4 千㎡で、市が保有する施設の 2.2%を占めています

築年数の状況は、築 31 年以上の施設が 4 施設、築 21 年以上 築 30 年以下が 1 施設、築 20 年以下が 4 施設です。

①施設一覧（令和２年４月１日現在）

No	名　称	所 在 地	建築年度	築年数	延床面積（㎡）	備考
1	西部環境工場	西区城山薬師 2 丁目 12 番 1 号	平成 27 年	5	12,723.52	一般廃棄物処理施設 処理能力：140(t/日)×2 炉
2	東部環境工場	東区戸島町 2570 番地	平成 6 年	26	24,977.48	一般廃棄物処理施設 処理能力：300(t/日)×2 炉
3	扇田環境センター	北区釜尾町 439 番地 2	昭和 58 年	37	3,877.92	廃棄物埋立処分場
4	北部クリーンセンター	北区清水新地 7 丁目 9 番 1 号	昭和 62 年	33	2,202.92	
5	西部クリーンセンター	西区城山半田 2 丁目 1 番 1 号	昭和 63 年	32	2,341.97	
6	東部クリーンセンター	東区戸島西 7 丁目 3 番 1 号	昭和 61 年	34	1,635.73	
7	戸島ふれあい広場管理棟	東区戸島町 1489 番地	平成 25 年	7	272.36	旧埋立処分場
8	扇田ふれあい広場管理棟	北区釜尾町 811 番地	平成 25 年	7	191.69	旧埋立処分場
9	東部堆肥センター	東区戸島町 585 番 1	令和元年	1	6137.00	
合　計					54,360.59	

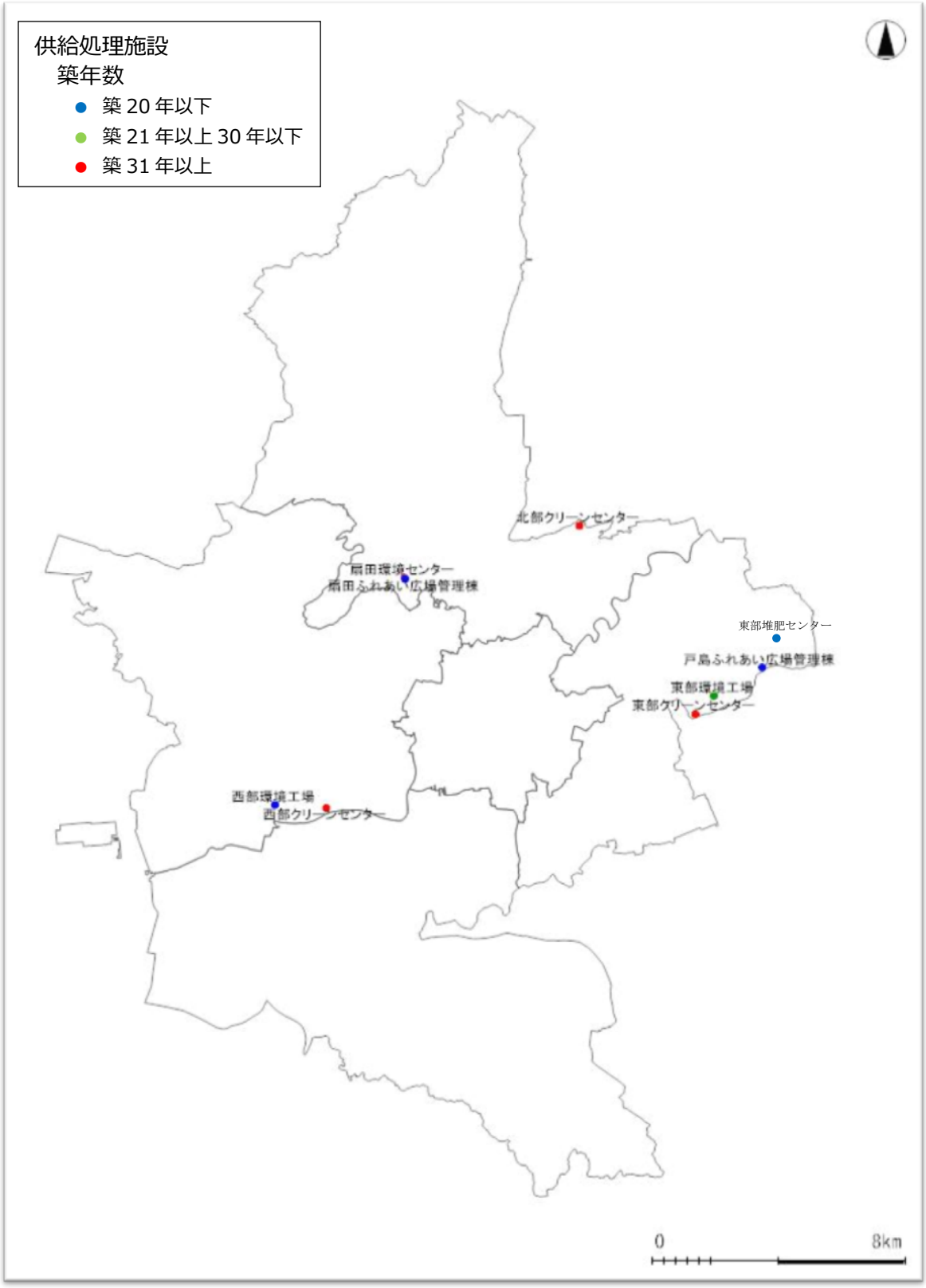
※ 秋津浄化センターは熊本地震による被災により平成 28 年度末をもって廃止しました。

東部堆肥センター

東部環境工場

②配置状況

図表　施設配置図：全体（平成 31 年 4 月 1 日現在）

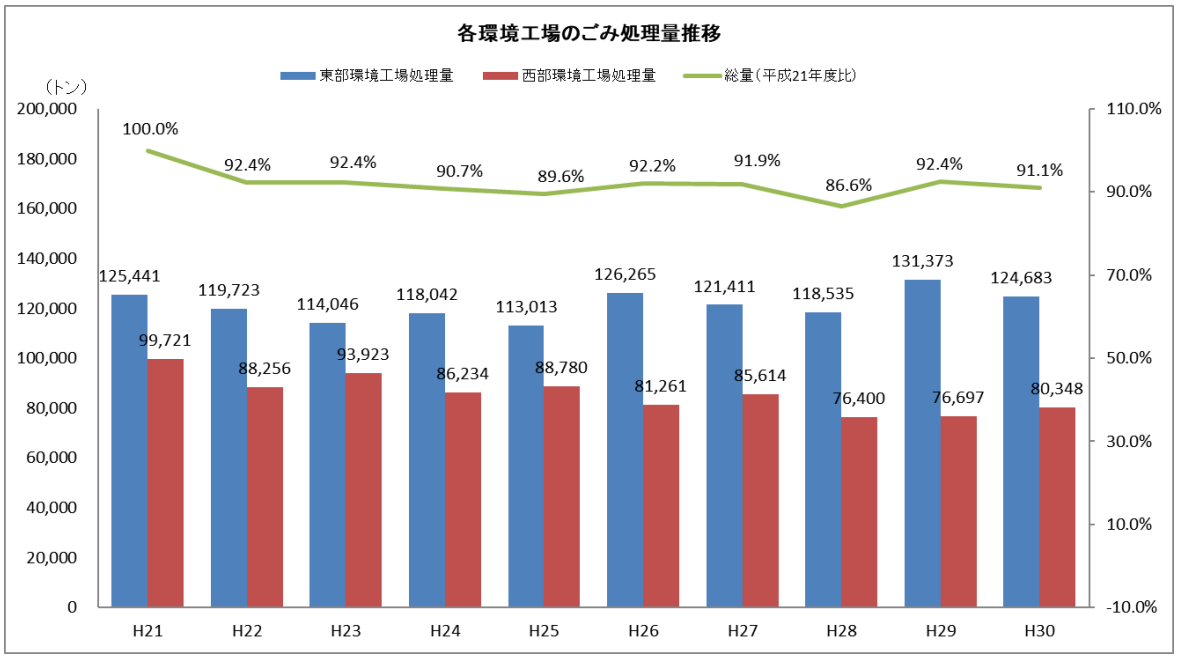


供給処理施設は市内に 9 施設整備されています。

③ごみ処理の状況

燃やすごみは、東部環境工場と西部環境工場で焼却処理を行っており、平成 21 年度のごみ処理量を 100%とすると、平成 22 度年以降は概ね 90%台で推移しています。

図表　各環境工場のごみ処理量推移



・プラスチック類を平成 22 年より再資源化に移行したことにより焼却量は大幅に減少しています。
・平成 26 年度から、城南地区の燃やすごみは東部環境工場にて、富合地区の燃やすごみは西部環境工場にて処理しています。
・令和元年度から、植木地区の燃やすごみは東部環境工場にて処理しています。
・災害ごみは集計から除いています。

④し尿処理の状況

し尿の受け入れは、下記の施設で行っています。

図表　処理施設別し尿処理量推移　（単位：ｋｌ）

処理施設	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
秋津浄化センター	19,681.1	18,301.9	733.6		
東部浄化センター			18,098.7	18,740.1	16,997.3
中部浄化センター	34,919.1	33,951.7	33,453.1	30,440.1	28,512.1
宇城広域連合浄化センター					
山鹿衛生処理センター	18,694.3	18,908.9	18,419.0	18,195.3	17,170.0
計	73,294.5	71,162.5	70,704.4	67,375.5	62,679.4

※宇城広域連合浄化センターで受け入れていた旧富合町と旧城南町のし尿については、平成 26 年度から、秋津浄化センター及び中部浄化センターで受け入れを行い、熊本地震で秋津浄化センターが被災した後は東部浄化センターで受け入れ、処理しています。
※秋津浄化センターは平成 28 年度末に廃止しました。

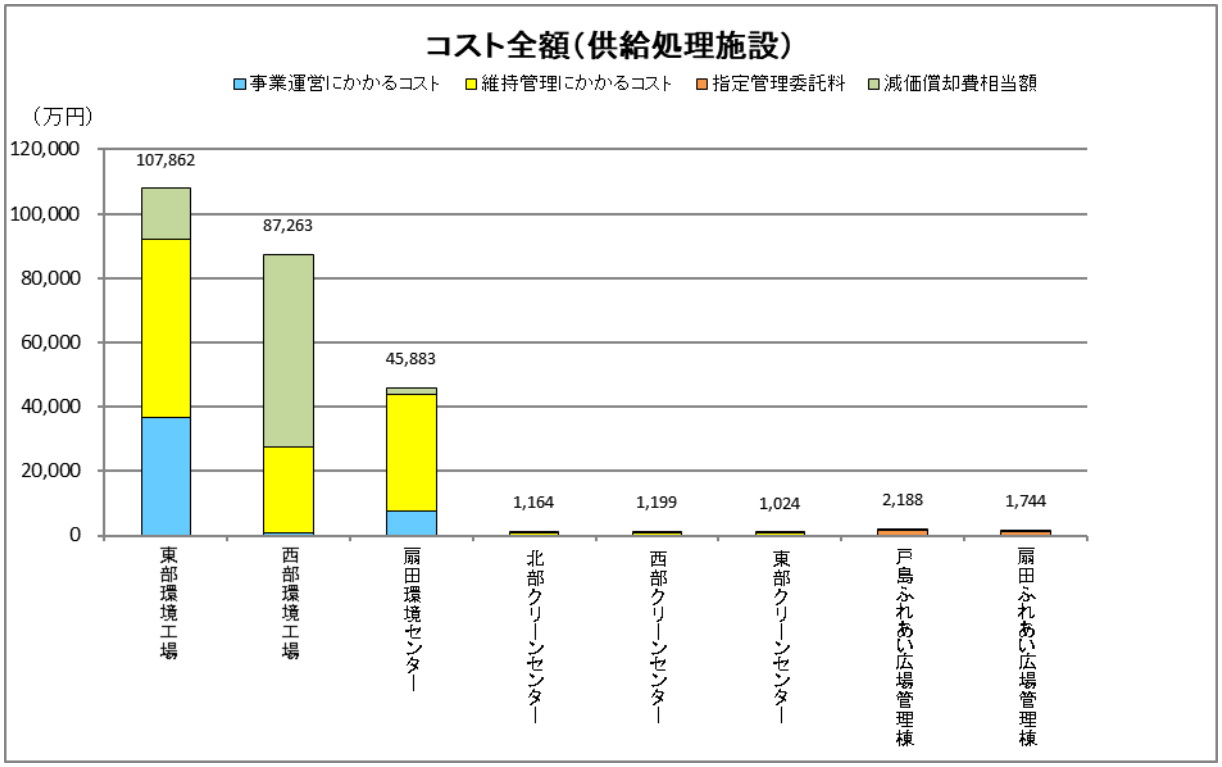
2）実態把握

①コスト状況（平成 30 年度）

年間トータルコストは、24 億 8,326 万円です。このうち、減価償却相当額は 7 億 9,125 万円（32%）で、指定管理委託費は、3,104 万円（1%）で、維持管理にかかるコストは 12 億 1,035 万円（49%）で、事業運営にかかるコストは 4 億 5,063 万円（18%）となっています。

施設別では、東部環境工場が 10 億 7,862 万円で最も高く、全体の約 43%を占めています。続いて西部環境工場が 8 億 7,263 万円です。

図表　施設別コスト一覧（平成 30 年度）



※クリーンセンターについては、正規職員の人件費を含まない金額となっています。

※中部浄化センターでも、し尿処理を行っていますが、企業会計施設であるため、インフラ施設として第 3 章の中で取り扱っています。

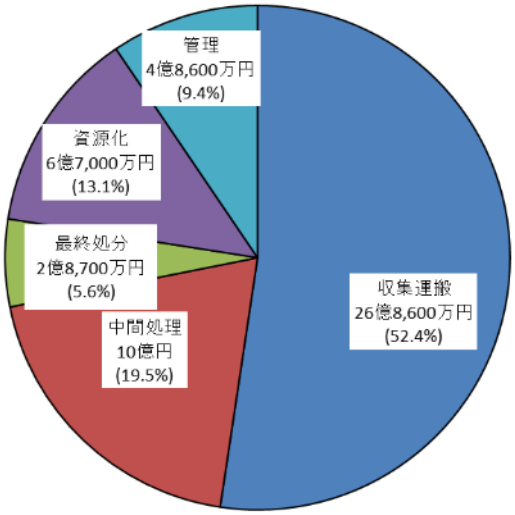
図表　家庭ごみ処理経費の内訳（平成 30 年度実績）

種別	金額	単位	備考
収集運搬	2,686	百万円	クリーンセンターの運転管理費及び収集運搬業務委託料
中間処理	1,000	百万円	環境工場の運転管理費
最終処分	287	百万円	扇田環境センターの運転管理費
資源化	670	百万円	資源化処理業務の委託料
管理	486	百万円	管理部門の人件費及び物件費
合計	5,129	百万円	
一人当たり処理コスト	7,308	円/人	収集人口　701,843 人
一トン当たり処理コスト	36,191	円/トン	家庭ごみ処理量　141,722 トン

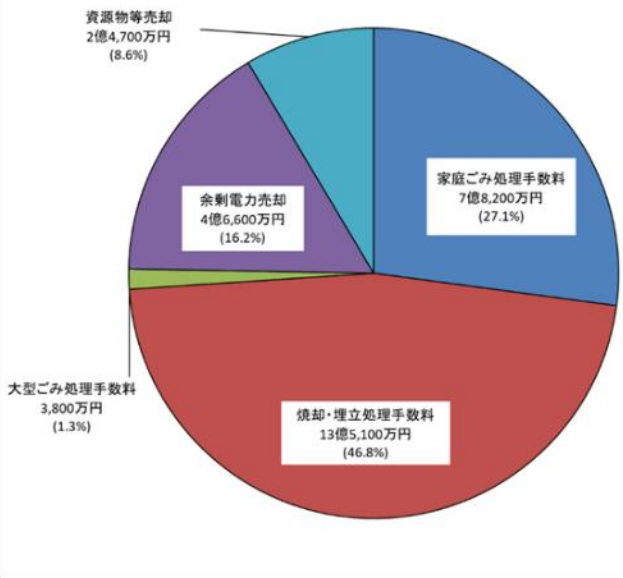
図表　処理手数料等収入の内訳（平成 30 年度実績）

種別	金額	単位	備考
家庭ごみ処理手数料	782	百万円	
焼却・埋立処理手数料	1,351	百万円	
大型ごみ処理手数料	38	百万円	
余剰電力売却	466	百万円	東部環境工場：41,762（kWh）　西部環境工場：33,234（kWh）
資源物等売却	247	百万円	
合計	2,884	百万円	

家庭ごみ処理経費の内訳



処理手数料等収入の内訳



3）既存計画の概要

①環境工場の更新等について

○これまでの経緯

・施設設置経過

都市ごみがライフスタイルの変化等とともに多様化、増加しつつあるなか、昭和 61 年に竣工した西部環境工場（450ｔ／日）と平成 6 年 3 月に竣工した東部環境工場（600ｔ／日）の両工場（合計処理能力 1,050ｔ／日）で可燃ごみの全量焼却体制を維持してきました。

東部環境工場は、法令の新たな規制に対する適合を図るため平成 12・13 年度で飛灰処理設備改修工事を実施し、老朽化対策として平成 19 年度から平成 22 年度までの計画で基幹的施設整備を実施しました。

老朽化が著しい西部環境工場は、代替施設の整備を進め、平成 23 年度に事業用地の取得、代替施設の整備・運営を公設民営(以下 DBO)方式で実施する民間事業者の選定を行い、平成 24 年度に建設工事に着手し、平成 28 年 3 月より稼動を開始しました。

新施設の処理規模は、これまでのごみ減量化推進により市全体のごみ排出量が減少したため、450ｔ／日から 280ｔ／日に縮小しました。

東部、西部両環境工場は、ごみ焼却余熱を利用して発電を行う発電所であり、合計 16,480ｋW（東部：10,500ｋW、西部：5,980ｋW）の発電能力を持ち、場内、三山荘、東部交流センター、西区役所及び西部交流センターの市関連施設に電力を供給し、余剰電力は電力会社に売却しています。

さらに、余熱の用途として、西部環境工場は西部交流センター及び周辺農業用ハウスに加温用温水を供給し、東部環境工場は健康増進施設「三山荘」及び「東部交流センター」に温水を供給しています。

・施設整備・運営方法の経過

これまで環境工場の建設は土木、建築、建築設備、プラント設備の各工事種別に分けて一般競争入札により工事発注を行い、運営も直営で行ってきました。一般廃棄物処理施設の維持管理コストは経年ごとに増加する傾向があり、長期的な運営計画の中でのコストダウンが必要となってきました。

このため、昭和 61 年の竣工後、30 年を経過し老朽化が進んだ西部環境工場の代替施設整備については、市が資金調達を行い、民間事業者が設計から建設・運営・維持管理を一括して行う DBO 方式を採用しました。

DBO 方式により、本施設を整備し、施設の完成後約 20 年間にわたって運営することで、一般廃棄物処理施設の有効かつ効率的な整備と民間ノウハウを活かした長期間にわたる良好な運営を図ることが期待されます。但し、当初の運営委託期間は 20 年としていますが、適切な維持管理を実施することで、施設の運用は 35 年間を予定しています。

本事業の契約時の事業総額は 166 億 9500 万円(施設整備費 112 億 9,800 万円、運営費 53 億 9,700 万円)となっています。 市が自ら実施する場合と落札者の提案に基づき DBO 方式で実施する場合を比較すると、後者の場合、事業期間を通じた市の財政負担額は、28.3%（現在価値換算後）縮減することができます。

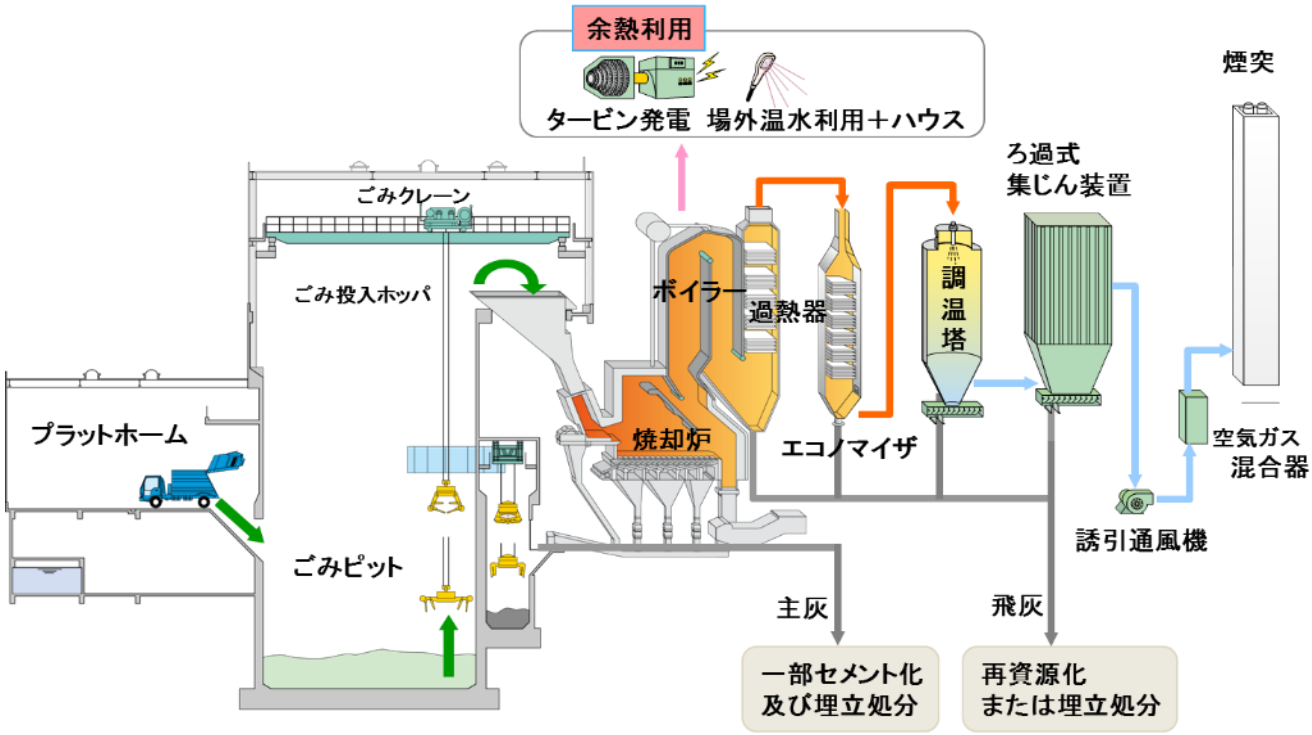
○今後の対応

東部環境工場は、基幹整備は実施しましたが、設置後 25 年間経過しています。環境工場等の一般廃棄物処理施設は、一般的な耐用年数は 30 年とされており、今後は機能を維持するための計画が必要です。

また、その代替施設の検討の際には、西部環境工場と同様に民間資金・ノウハウを活用した DBO 方式等の効率的な整備・運営手法の検討が必要です。

西部環境工場は、民間事業者による運営が開始され、長寿命化計画に基づいて維持管理が行われます。但し、その運営や維持管理手法には検証が必要であり、その検証を行える技術職員の育成も必要です。

②環境工場のごみ処理フロー



4）総合管理計画における施設分野別方針

方針1　資産総量の適正化

・更新や改修に多額の費用を要することから、長期的視点に立った管理計画を策定します。

・クリーンセンター等については、収集体制の見直しや民間委託の状況を踏まえ、必要性も含めて今後の対応を検討します。

方針2　施設の長寿命化の推進

・環境工場については、躯体のみならず、多数の設備を有していることから、部位の特性に応じた長寿命化策を検討し、できるだけ長く施設を使えるような取り組みを進めます。

（25）その他の施設

1）施設概要

本市のその他の施設は、10 施設あります。総延床面積は約 4 万 3 千㎡で、市が保有する施設の 1.8%を占めています。

築年数の状況は、築 31 年以上の施設が 2 施設、築 21 年以上 築 30 年以下が 5 施設、築 20 年以下が 3 施設です。

①施設一覧（令和２年４月１日現在）

No	名　称	所 在 地	建築年度	築年数	延床面積（㎡）	運営時間	休館日
1	辛島公園地下駐車場	中央区辛島町 1 番地下 1 号	平成 4 年	28	22,224.91	24 時間 ※2	無休
2	辛島公園地下通路	中央区辛島町 1 番地下 1 号	平成 4 年	28	1,314.15	7:00～25:00	無休
3	熊本市役所駐車場 ※1	中央区下通 1 丁目 1 番 8 号	昭和 54 年	41	8,001.20	8:30～22:00	1 月 1 日
4	武蔵塚駅前自転車駐車場	北区武蔵ヶ丘 6 丁目 1530 番地 2	平成 6 年	26	1,638.38	5:15～24:00	1 月 1 日-3 日
5	熊本市斎場	東区戸島町 796 番地	平成 11 年	21	4,970.33	8:30～17:15	1 月 1 日
6	植木火葬場	北区植木町滴水 628 番地 1	昭和 56 年	39	205.19	8:30～17:15	1 月 1 日
7	動物愛護センター	東区小山 2 丁目 11 番 1 号	平成 25 年	7	1,099.85	8:30～17:15	土曜日・日曜日・祝日・年末年始
8	東部交流センター	東区戸島町 2588 番地 1	平成 19 年	13	1,088.77	9:00～22:00	火曜日（祝日に当たるときは次の平日）・年末年始
9	三山荘	東区戸島町 2573 番地	平成 2 年	30	992.62	10:00～16:30	月曜日・年末年始
10	西部交流センター	西区小島 2 丁目 7 番 50 号	平成 29 年	3	1,879.49	9:00～22:00	水曜日（祝日に当たるときは次の平日）・年末年始
合　計					43,414.89		

※１ 市役所駐車場は、民間企業との区分所有施設であり、上記面積については、熊本市管理部分のみの床面積（民間企業管理部分は、地上１階・地下１階部分（床面積 3,201.80 ㎡））

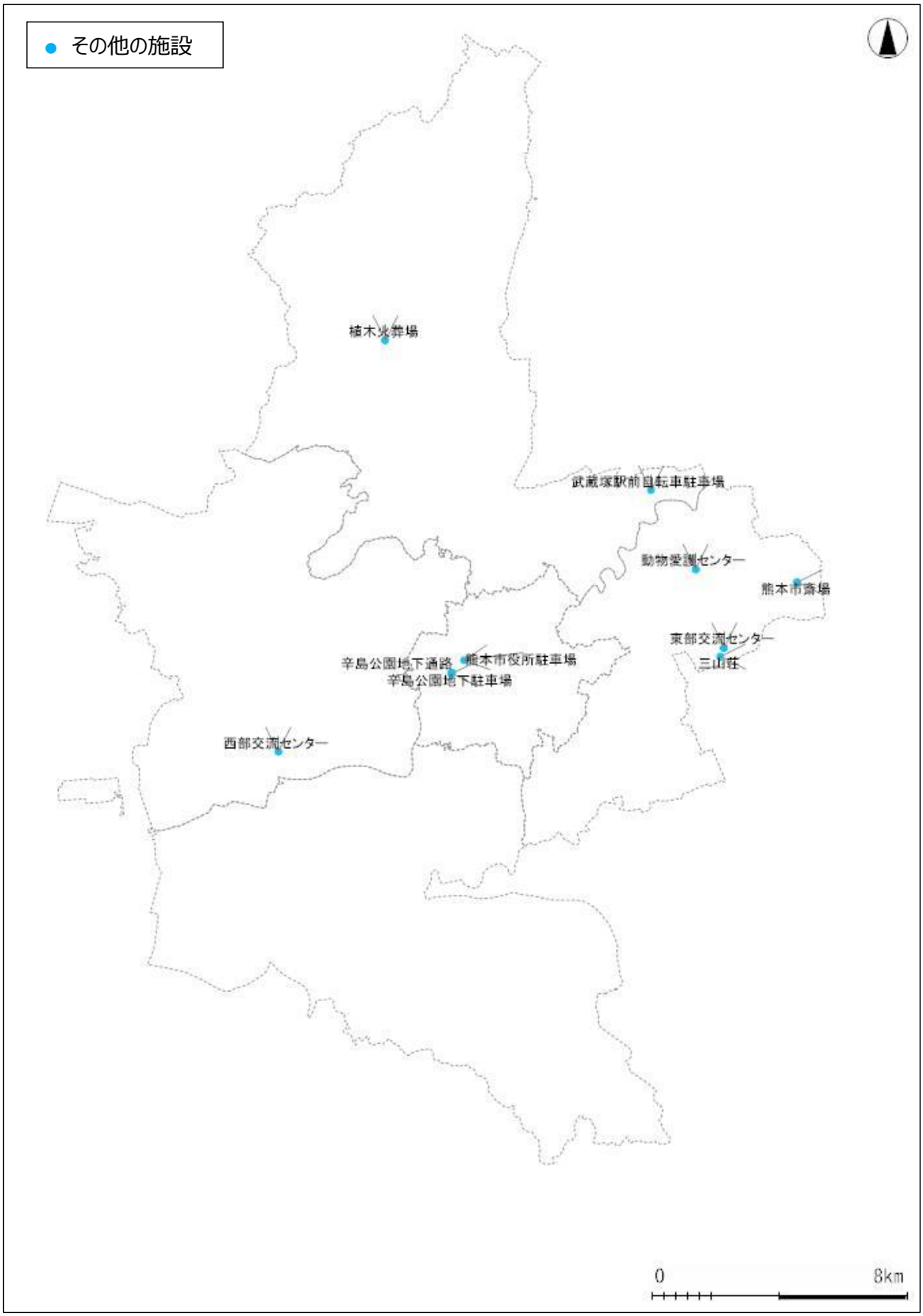
※２ 駐輪場の運営時間は、7：00～25：00

熊本市斎場

西部交流センター

②配置状況

図表　施設配置図：全体（平成 31 年 4 月 1 日現在）



2）実態把握

①コスト状況（平成 30 年度実績）

年間トータルコストは、7 億 8,561 万円です。このうち、事業運営にかかるコストは 1 億 2,961 万円（16%）で、維持管理にかかるコストは 1 億 1,794 万円（15%）で、指定管理委託費は 4 億 2,863 万円（55%）で、減価償却費は 1 億 942 万円（14%）となっています。

施設別では、熊本市斎場の 2 億 1,725 万円が最も高く、次いで動物愛護センターの 1 億 6,583 万円、辛島公園地下駐車場の 1 億 6,378 万円となっています。

図表 施設コスト一覧（平成 30 年度）

No	施 設 名	支出（円）					収入計（円）
		事業運営費	維持管理費	指定管理費	減価償却費	支出計	
1	辛島公園地下駐車場	－	750,244	163,031,497	－	163,781,741	122,857,888
2	辛島公園地下通路	－	－	11,478,907	－	11,478,907	5,501
3	熊本市役所駐車場	－	38,972,645	－	12,633,474	51,606,119	71,141,560
4	武蔵塚駅前自転車駐車場	－	－	18,692,208	8,526,611	27,218,819	－
5	熊本市斎場	－	41,671,071	142,900,739	32,678,652	217,250,462	62,870,217
6	植木火葬場	－	9,931,849	－	594,869	10,526,718	1,248,000
7	動物愛護センター	129,612,494	26,254,828	－	9,968,416	165,835,738	30,372,120
8	東部交流センター	－	200,880	28,252,800	13,550,175	42,003,855	4,623,980
9	三山荘	－	164,160	15,300,000	9,291,579	24,755,739	1,719,385
10	西部交流センター	－	－	48,981,300	22,178,261	71,159,561	12,697,817
合 計		129,612,494	117,945,677	428,637,451	109,422,037	785,617,659	307,536,468

図表 施設別の利用 1 台あたりコスト（平成 30 年度）

施 設 名	年間利用台数（台）	支出計（円）	1 台あたり支出（円）	収入計（円）	1 台あたり収入（円）
辛島公園地下駐車場	181,213	163,781,741	904	122,857,888	678
熊本市役所駐車場	360,473	51,606,119	143	71,141,560	197
武蔵塚駅前自転車駐車場	369,469	27,218,819	74	－	－

3）各施設の利用状況等

①駐車場の利用状況等

市営駐車場利用台数（単位：台）

	H26	H27	H28	H29	H30
辛島公園地下駐車場	317,347	217,372	198,758	182,663	181,213
熊本市役所駐車場	318,671	340,589	396,323	366,628	360,473
計	636,018	557,961	595,081	549,291	541,686

市営駐車場使用料収入（単位：千円）

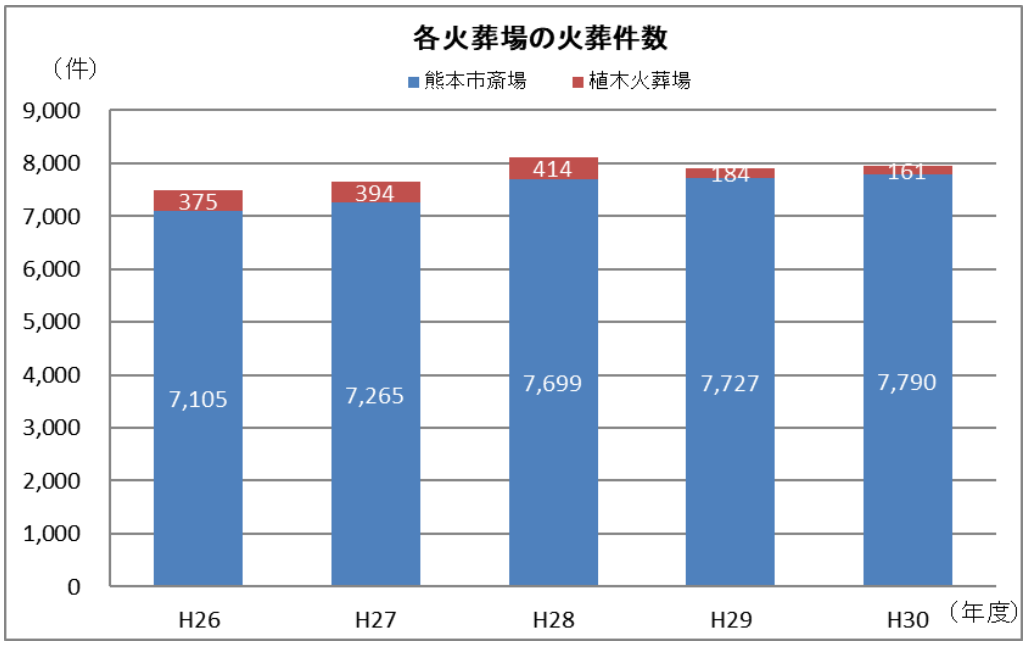
	H26	H27	H28	H29	H30
辛島公園地下駐車場	165,879	173,824	173,456	129,776	122,186
熊本市役所駐車場	49,366	54,498	81,741	74,771	71,141
計	215,245	228,322	255,196	204,547	193,327

辛島公園地下駐車場特別会計決算額（単位：千円）

		H26	H27	H28	H29	H30
歳入	165,879	173,824	173,455	129,776	173,455	122,186
	43,200	0	0	56,110	0	53,569
	938	890	3,694	12,591	3,694	33,773
	118	243	1,100	71	1,100	680
	210,135	174,957	178,249	198,548	178,249	210,208
歳出	166,318	171,263	182,858	242,712	182,858	340,347
	42,927	－	－	65	－	361
	209,245	171,263	182,858	242,777	182,858	340,708
実質収支額		890	3,694	△4,609	△44,229	△130,500

②火葬場の利用状況

図表：各火葬場の火葬件数



③動物愛護センターの利用状況

図表：動物愛護センターにおける犬の登録・予防接種・捕獲処分状況（単位：頭）

	H26	H27	H28	H29	H30
登録総数	37,944	34,599	34,352	34,367	32,108
予防接種	24,183	23,649	20,358	21,369	21,161
捕獲保護	366	361	356	320	208
不要犬引取り	6	18	13	23	14
計	372	379	369	343	222
返還	222	212	248	177	130
譲渡	151	129	139	90	76
処分/死亡	20	22	10	27	31
計	393	363	397	294	237

4）総合管理計画における施設分野別方針

方針2　施設の長寿命化の推進

・各施設の設置目的に応じて、利用状況や必要性について検討し、今後の方向性を決定します。

・設備を有する火葬場や動物愛護センターについては、適切なメンテナンスによって、施設の長寿命化を図ります。

コラム　公共建築物のいろいろなランキング

①延床面積が大きい施設

No	建物名	延床面積（㎡）
1	新地団地	85,891.23
2	楠団地	81,679.74
3	熊本市庁舎（中央区役所）	39,795.84
4	熊本市民病院	39,810.67
5	白藤団地	38,030.01
6	託麻団地	31,744.88
7	熊本城ホール	30,780.28
8	野越団地	29,019.87
9	総合屋内プール	26,486.50
10	東部環境工場	24,977.48

熊本市が所有する施設で最も延床面積が大きい施設は新地団地です。新地団地には 26 棟の住棟がありますが、一番大きな住棟は C 棟で、その棟だけで約 1 万 8 千㎡あります。1 棟で最も延床面積が大きい建物は熊本市庁舎（中央区役所）です。

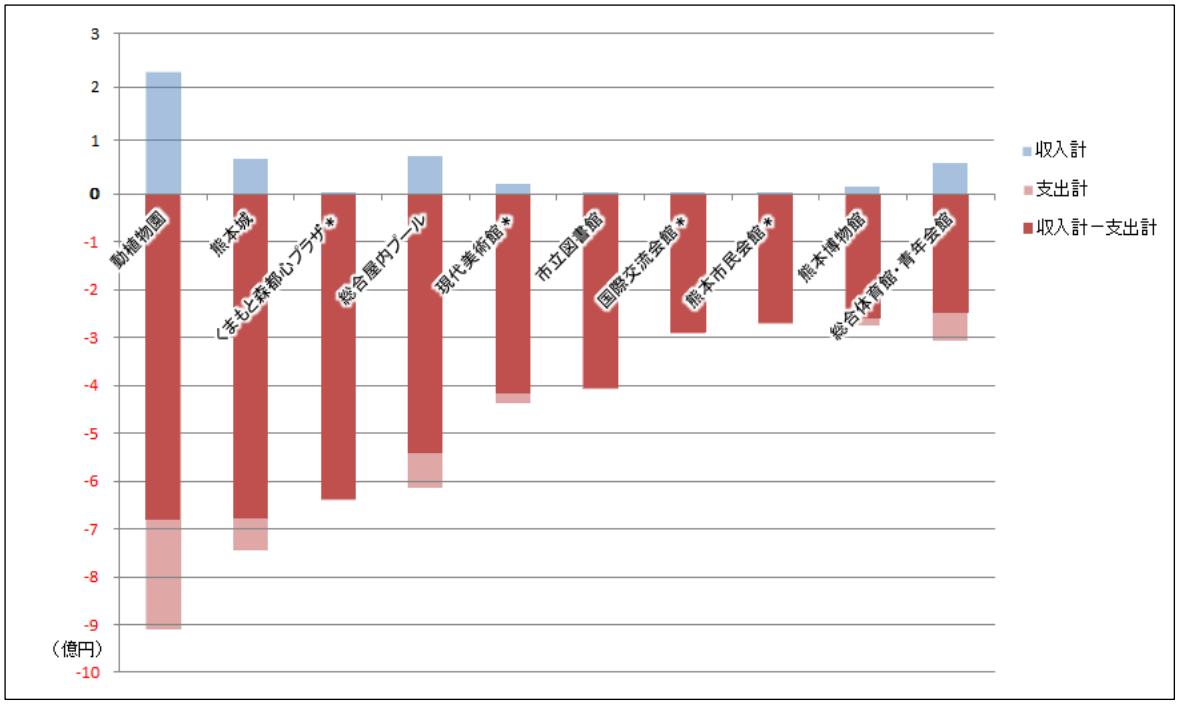
②建築年度が古い施設（文化財及びそれに準ずる施設は除く）（令和２年４月１日現在）

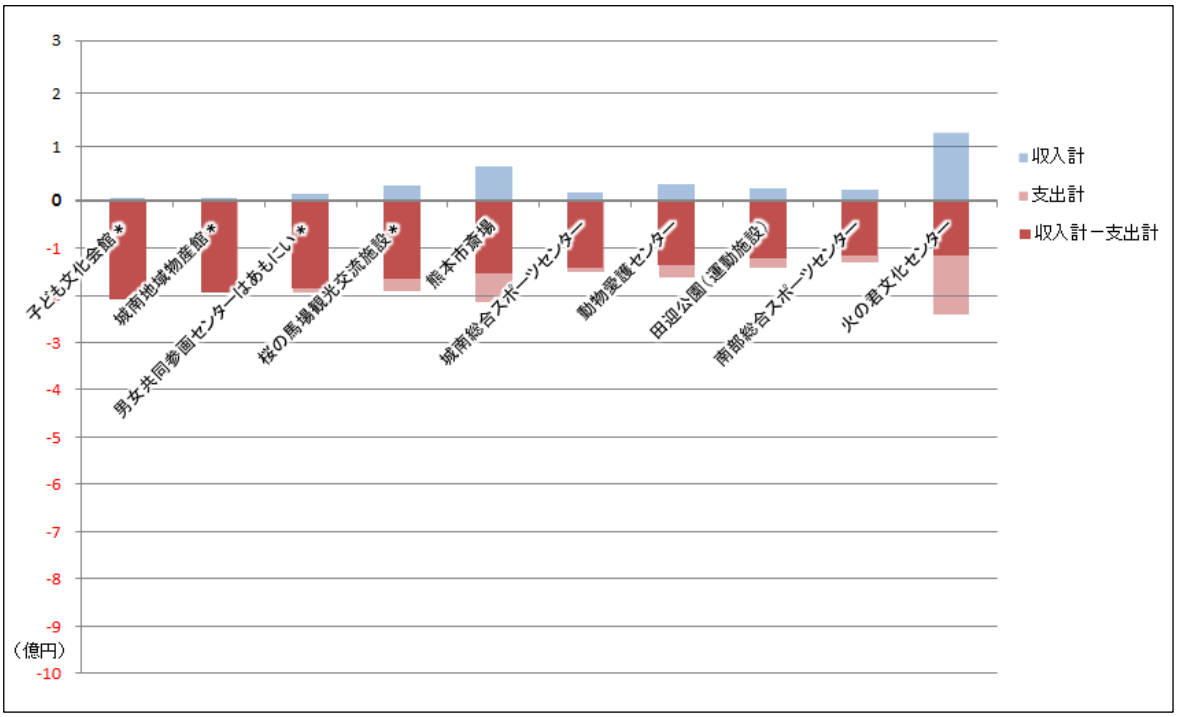
No	建物名	建築年度	築年数
1	川尻公会堂	1931	89
2	熊本市立白川小学校	1936	84
3	水前寺運動公園（競技場）	1951	69
4	田底団地	1954	66
5	熊本市立藤園中学校	1955	65
6	宮内団地	1956	64
7	塚原Ⅱ団地	1956	64
8	熊本市立江南中学校	1956	64
9	菅原団地	1958	62
10	熊本市立帯山中学校	1958	62

※建築物が複数棟ある施設は、最も古い建築物の建築年度を表示しています。

川尻公会堂は熊本地震で大きな被害を受けましたが、復旧並びに構造補強工事を実施し、平成 31 年 4 月に利用を再開しました。また、学校及び市営住宅に建築年度が古い施設が多い傾向があります。

③収入と支出の差額が大きい施設（学校・市営住宅・庁舎・供給処理施設を除く）（平成 30 年度実績）





※上記支出額に一部復旧工事費が含まれています。

＊･･･指定管理者･利用料金制度導入施設

上記グラフは、収支の差額が最も大きい施設から 20 施設を並べたものです。（学校施設、市営住宅、庁舎関係、供給処理施設は除きます。）平成 30 年度は、上記 20 施設だけで合計約 60 億円の収支の差額があります。